

ママって呼んで
いっぱい甘えて
4

1のあらすじ



オンラインゲームで
知り合った
ぼくクンとミクさん(37)
オフで会う

喰われる



ミクさんをうっかり
「ママ」と呼んでしまう
M気質のぼくクン

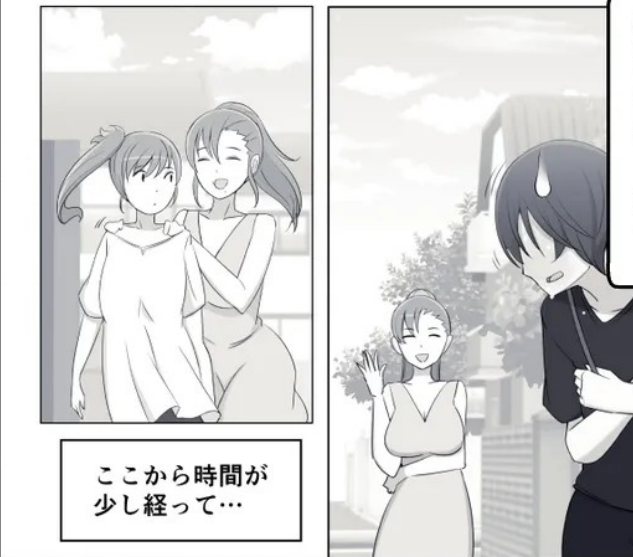


これを気に入った
ミクさんに
ママと呼びなさいと
命ぜられる

なんやかんやで最後まで
お相手してもらえる



検討すると言って
逃げるぼくクン



ここから時間が
少し経って…

その帰り際



ママの娘さんが登場



2のあらすじ



ミクさんの家に
遊びに行くボクくん
娘の「あやね」と
ゲームで対戦



負けたのに
なぜか罰ゲームで
良いことを
してもらえる
ボクくん



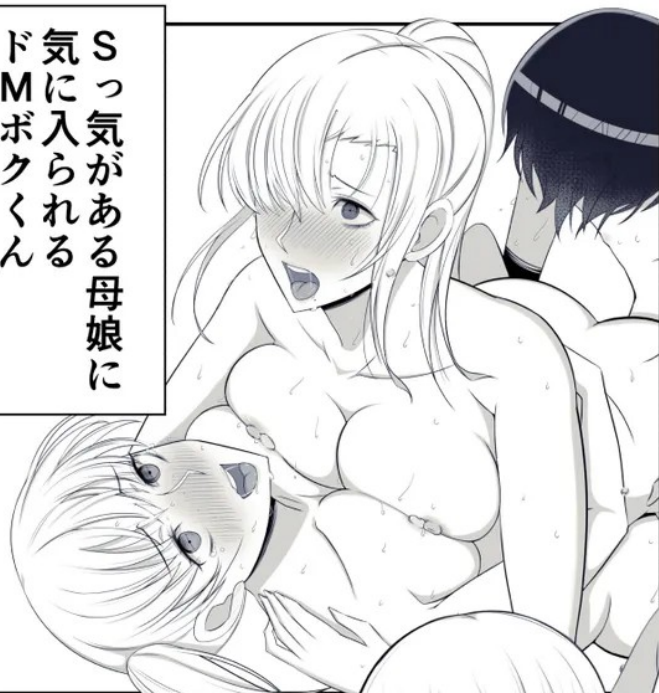
仲良くなる二人…

色々あって
ママも参戦



ますますMっ気を
こじらせる
ボクくん…

Sっ気がある母娘に
気に入られる
ドMボクくん



それから
少し経って…



3のあらすじ

「ボク」の部屋に
家出てきたと言って
突然泊まりに来た
「あやね」

最初は泊まりを
拒否するが
簡単に堕ちる「ボク」

少しツンツンした
関係のまま、
狭い部屋での
同居が始まる。

若い二人
何も起きない
はずもなく…

色々あって
ふたりは
少しだけ優しい
距離感に

今度は、あやねのママが
「ボクくんの家に
遊びに行く」
と言い出して…？

ママって呼んで
いっぱい甘えて
4



■ミクさん(37)

いろいろあった人生のせいか
恋愛や倫理観といった
“面倒なこと”にはあまり
関心がない様子

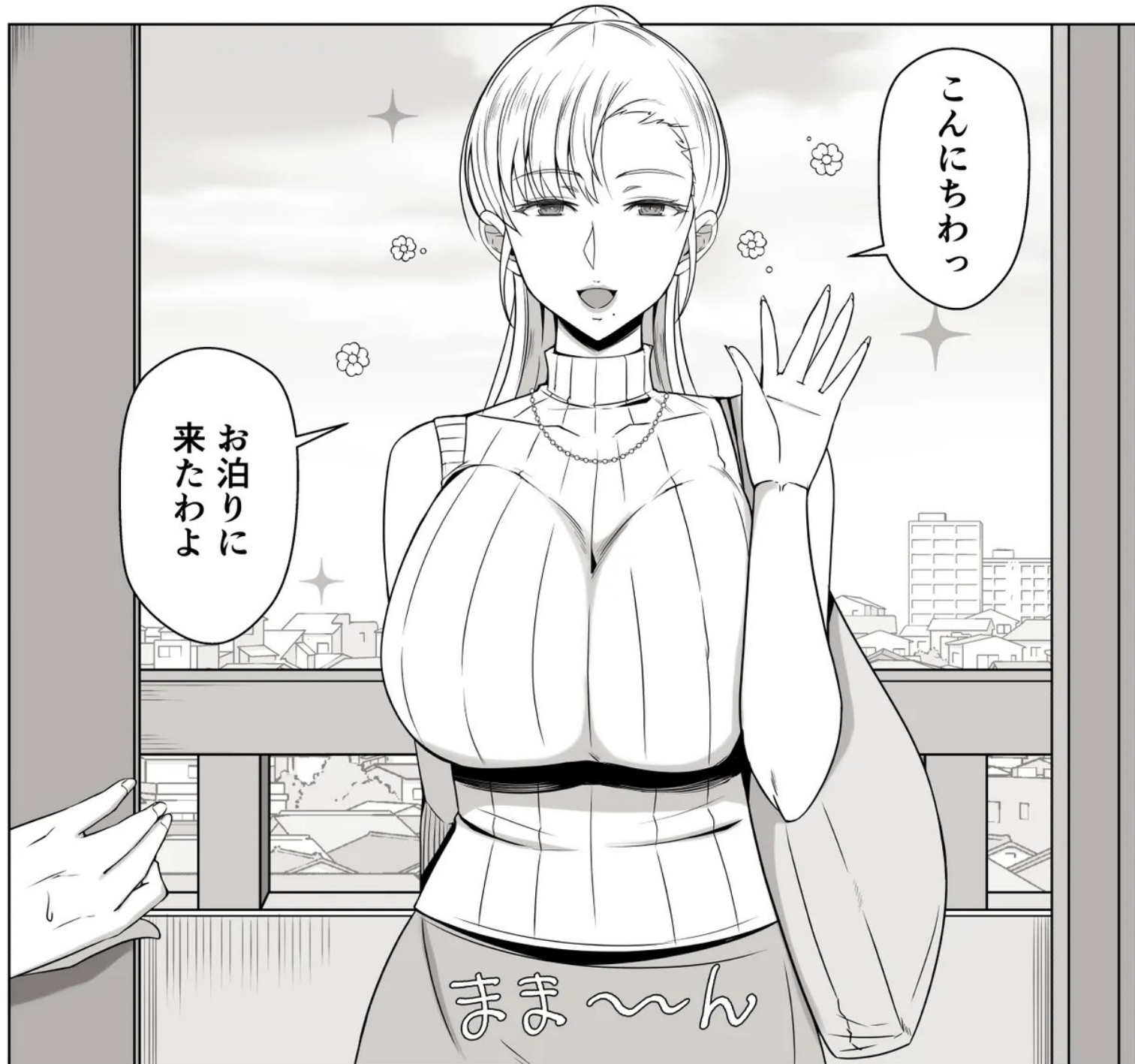
娘も手がかけられなくなってきたので
今は性の楽しさを満喫中
すごい美人なシングルマザー

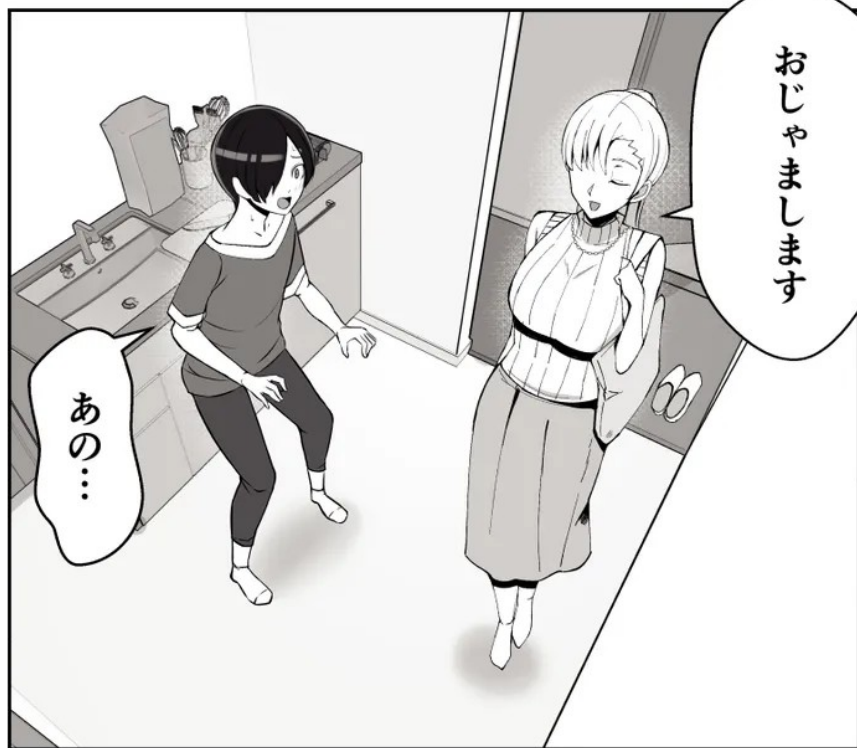


■ボクくん

両親が仕事で遠方に行くため
一人暮らし中
「いじめられると興奮する」という
ちょっぴりこじらせた
性癖の持ち主

若いのにちょっと気の毒な子...





おじゃまします

あの…



本当に来たの!?

うん

あやねが部活の
合宿中で
家に居ないから

来ちゃった



けど…ああ
男くさい部屋

この感じ
久しぶり♡

……



ああ…
聞いてた通り
狭いわ

こんな狭い所で
一人暮らしなんて
寂しいわよね

狭い…

ぽす

しかし
狭いわね



あ…あの
ミクさん…

イヤ…

私のことは
ママって呼んでって
言ったでしょ？

や、やっぱり
ママ呼びは
照れくさいよ…

良い匂い…

…！

ママ♡

今さら
恥ずか
しいの？

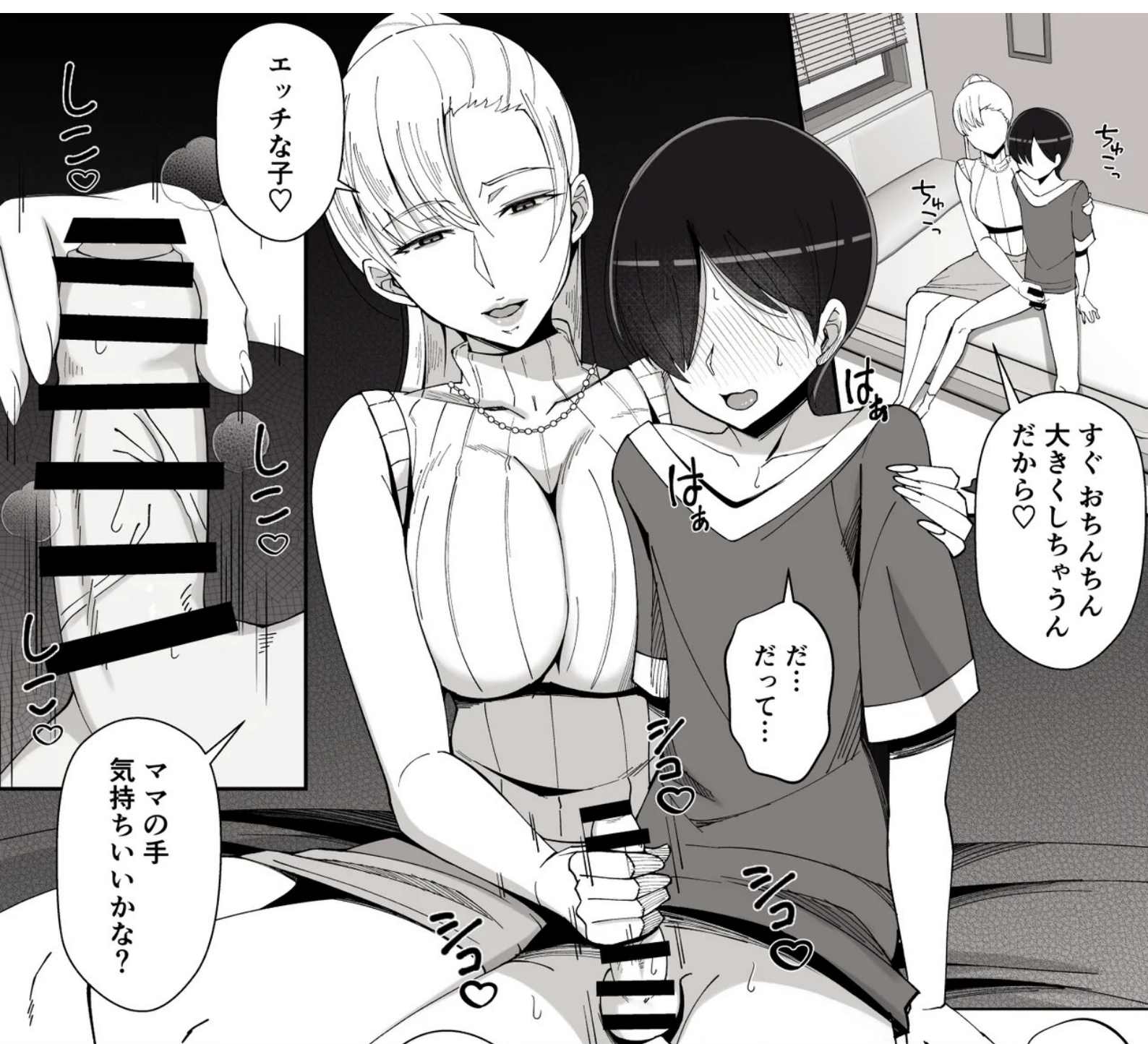
…もう固く
なってるわ…

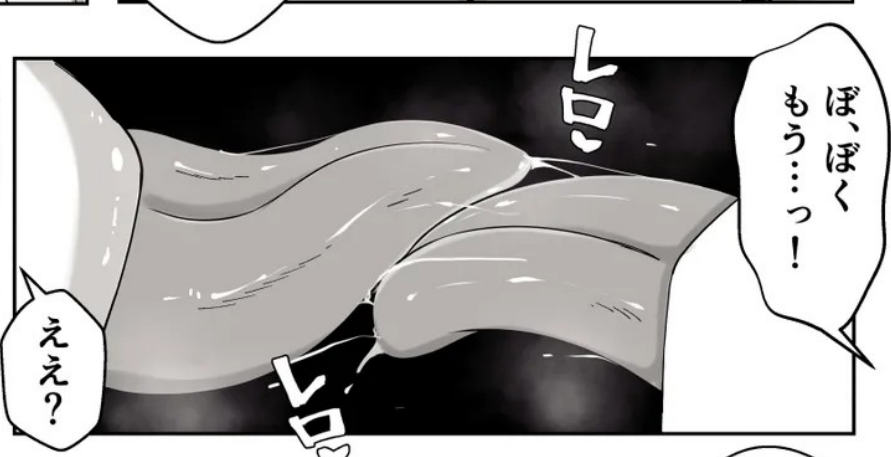
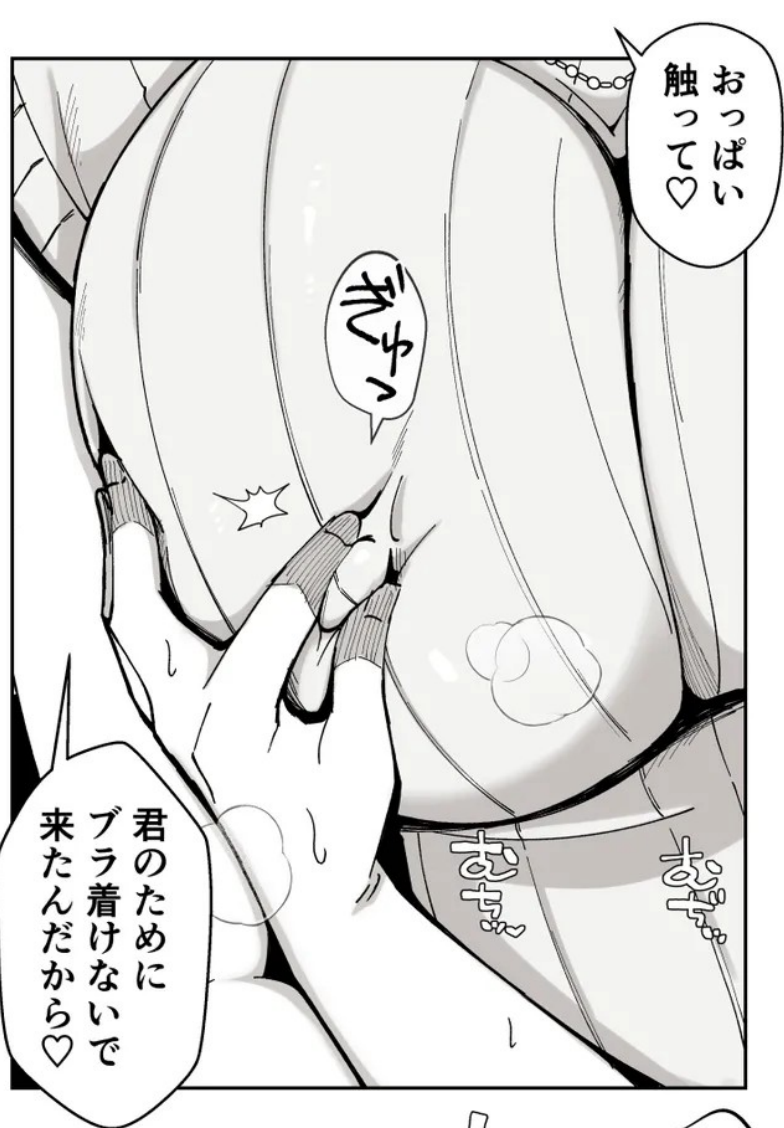
う、うう…

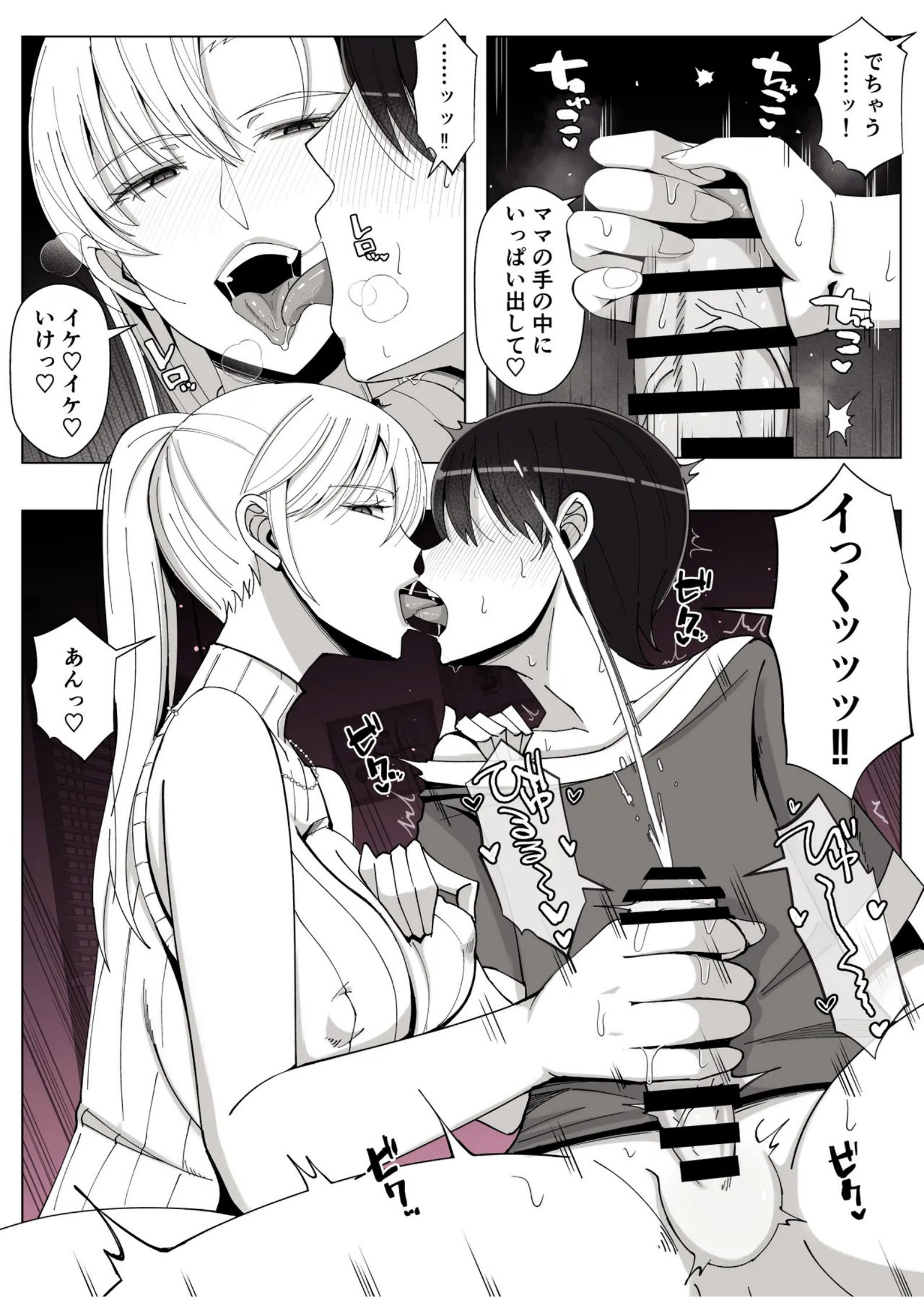
ママがヌキヌキ
してあげる♡

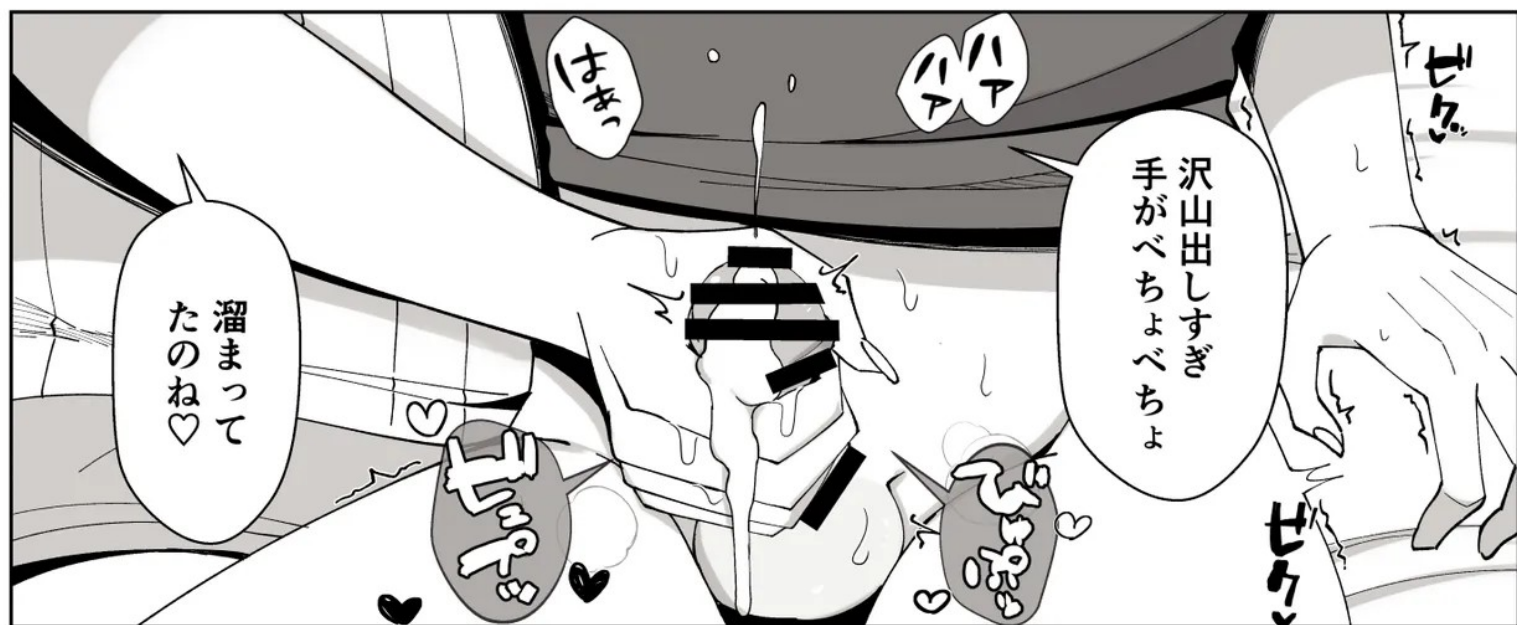
ナカ ナカ

ウキウキ















いいっ…!

もって
して…!

はっ



ふっ♡

はっ♡

ママも興奮
しちゃう♡



ああ♡
ミクひゃん…♡

情けない
声出し
ちゃって♡



ヘンタイで
ドマゾで
ほんと可愛いわ

大好き♡

ああっ!

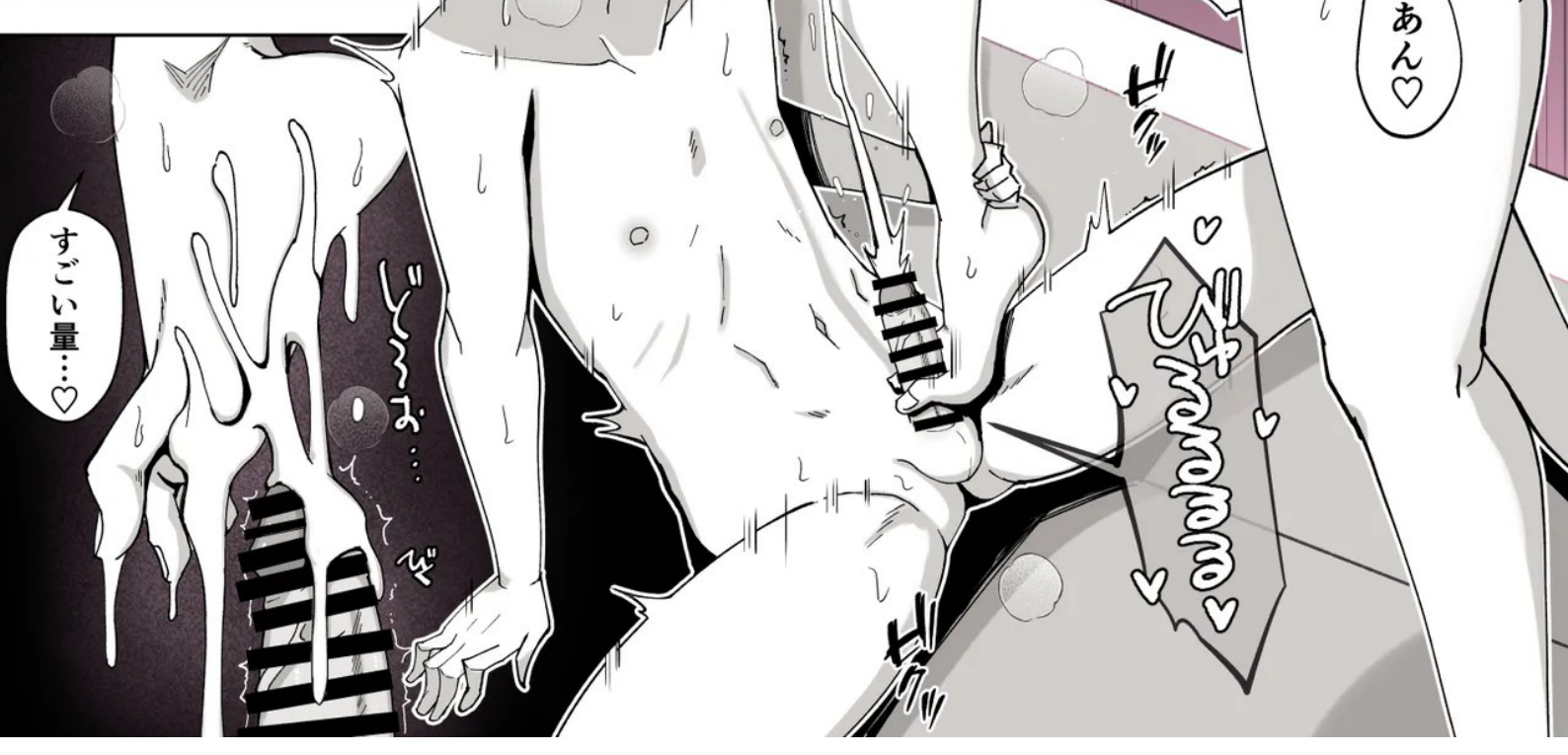


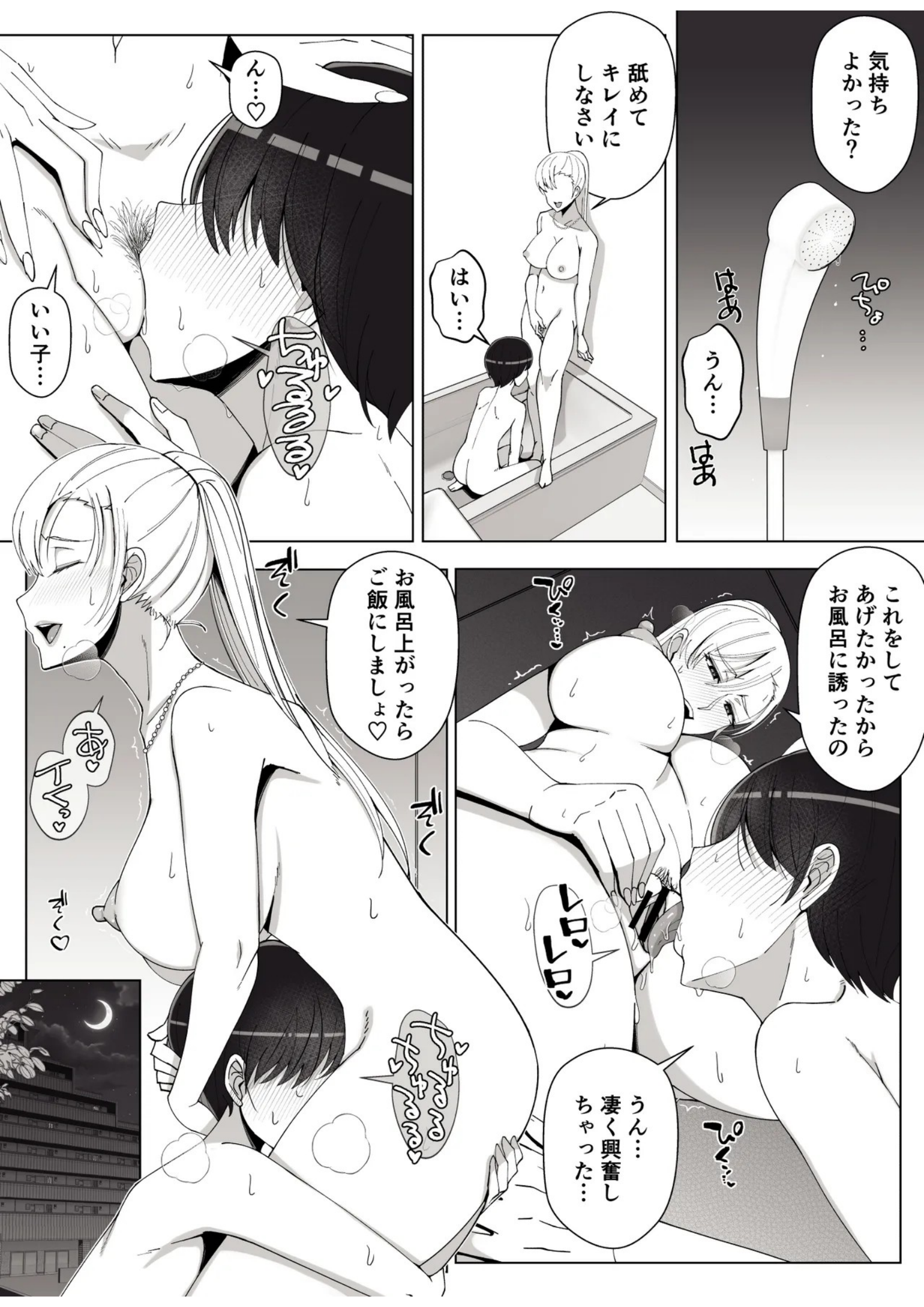
ほら♡
ほら♡

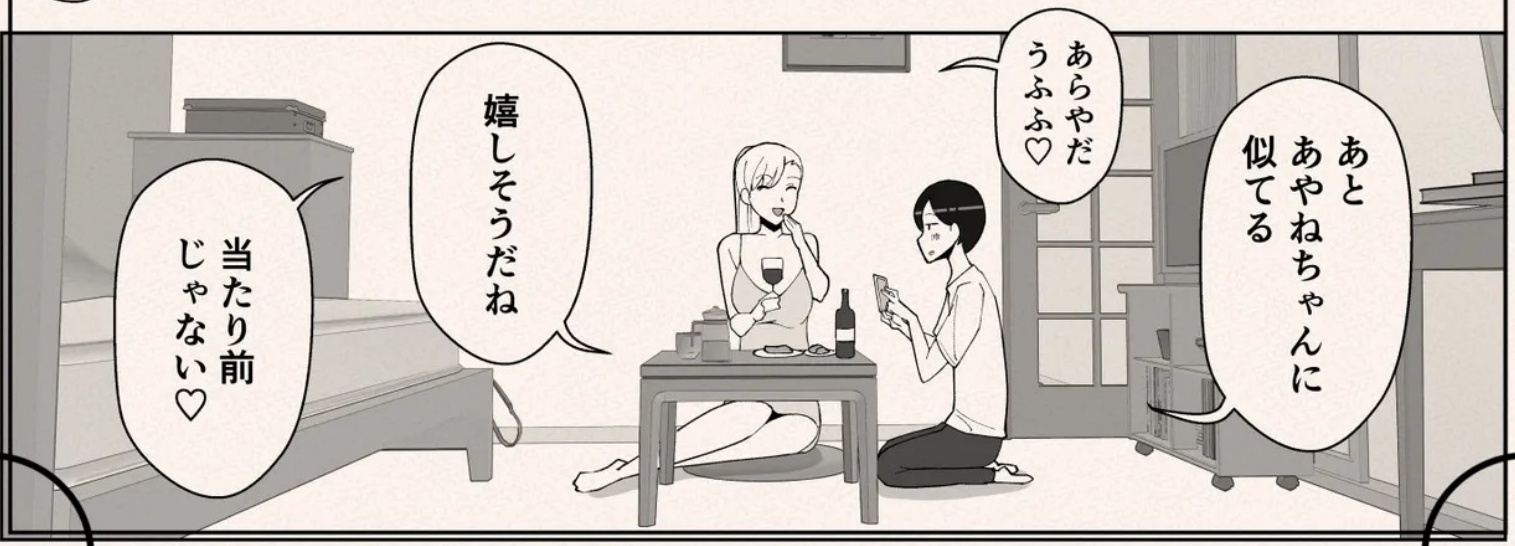
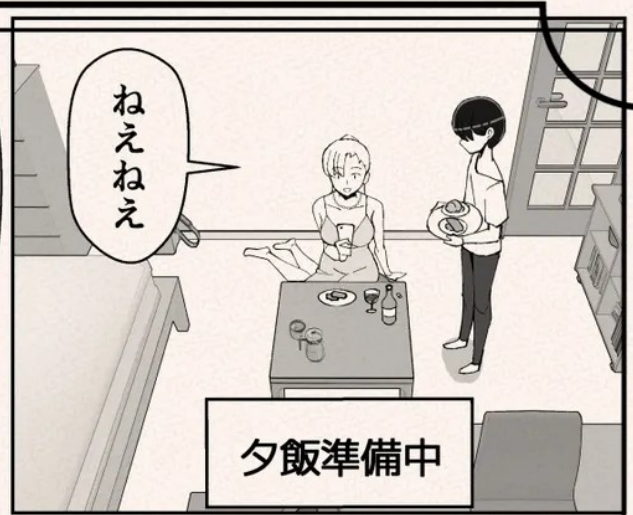
ぼく…
イツちやうっ…!

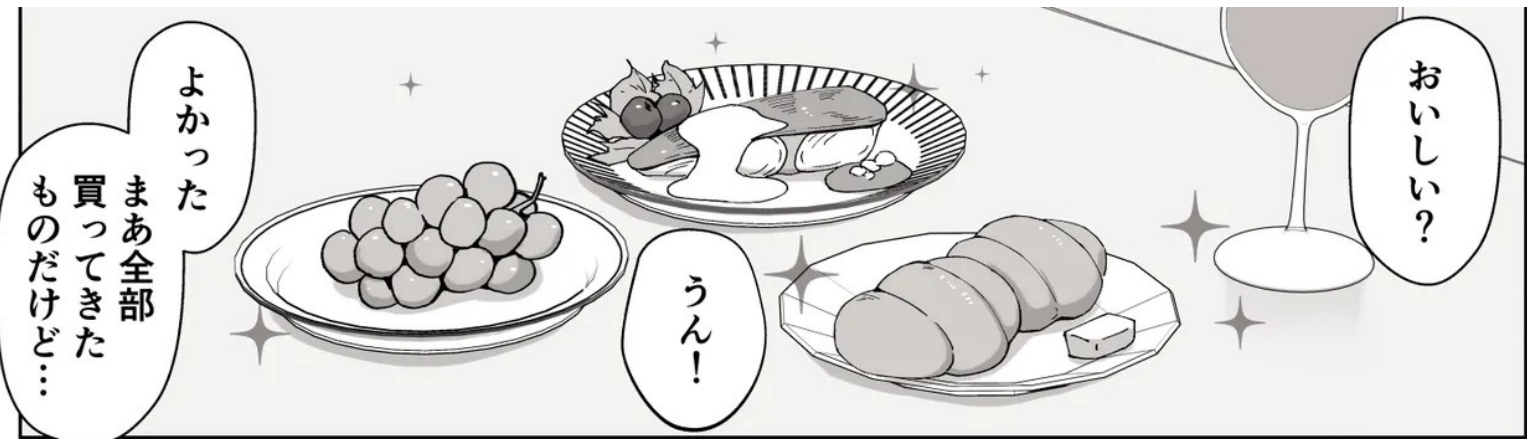
だっ♡

だっ♡





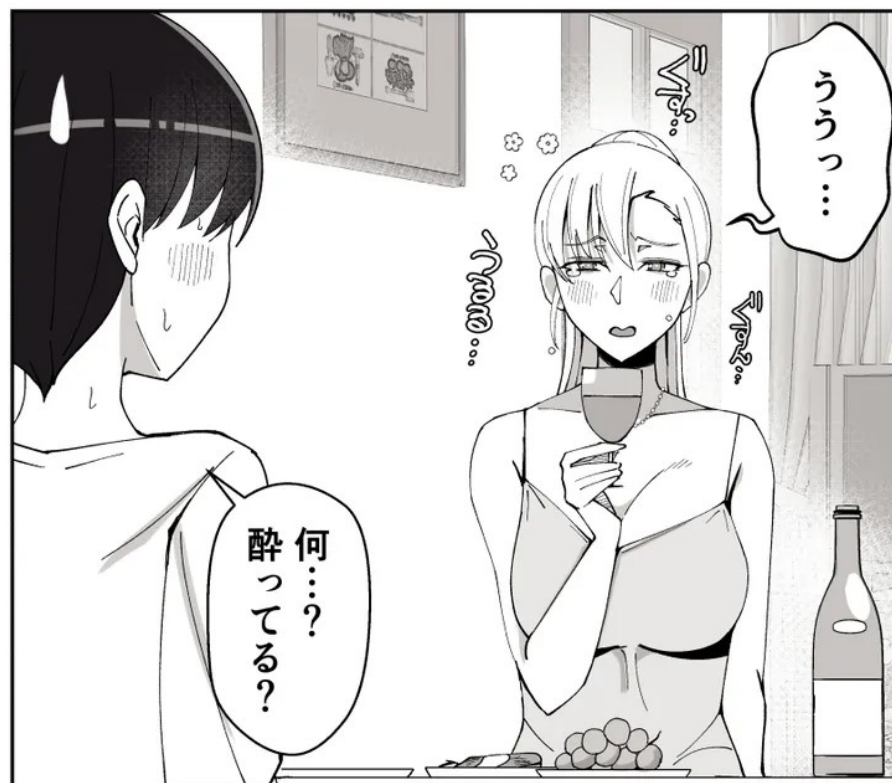




おいしい？

うん！

よかった
まあ全部
買ってきた
ものだけど…



ううっ…

何…？
酔ってる？



いつも
一人だから

一緒に
食べると
美味しい…

……



いっぱい
甘えて
いいからね

ママが
よしよし
してあげるっ

んっ…
お酒臭い…



かわいそうっ!!

家の事情とは
言えその歳で
独りだなんて！

マザコンでマゾで
ヘンタイなのは

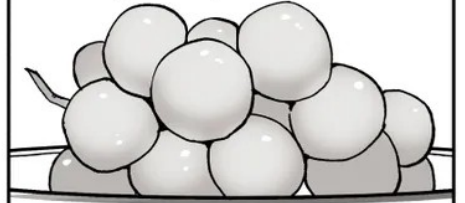
母親の愛情に
飢えている
からなのね！

だきゅー!!

……

ママが全部
お世話して
あげる…♡

ぽろ、



ぽろ

ほら
食べて…



ぽろ

ぽろ

ん…

ぽろ

おいひい？

ぽろ

おいひい…

ぽろ

ぽろ

ぽろ

ん…

ぽろ

ぽろ

はあ…♡

ぽろ

ぽろ

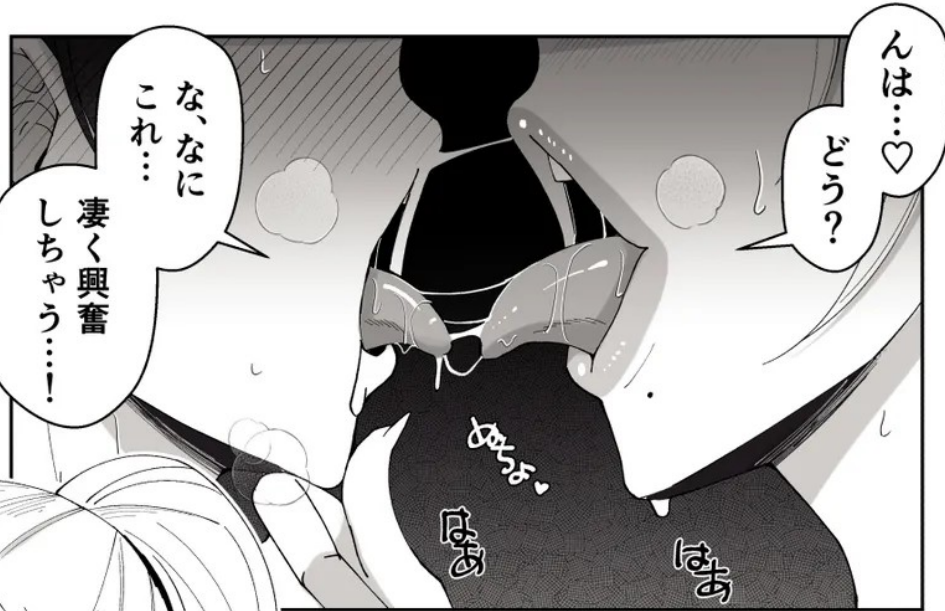
ぽろ

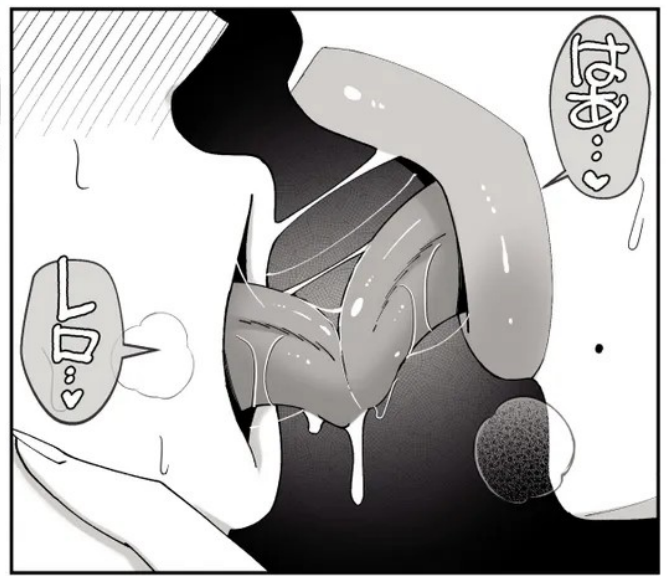
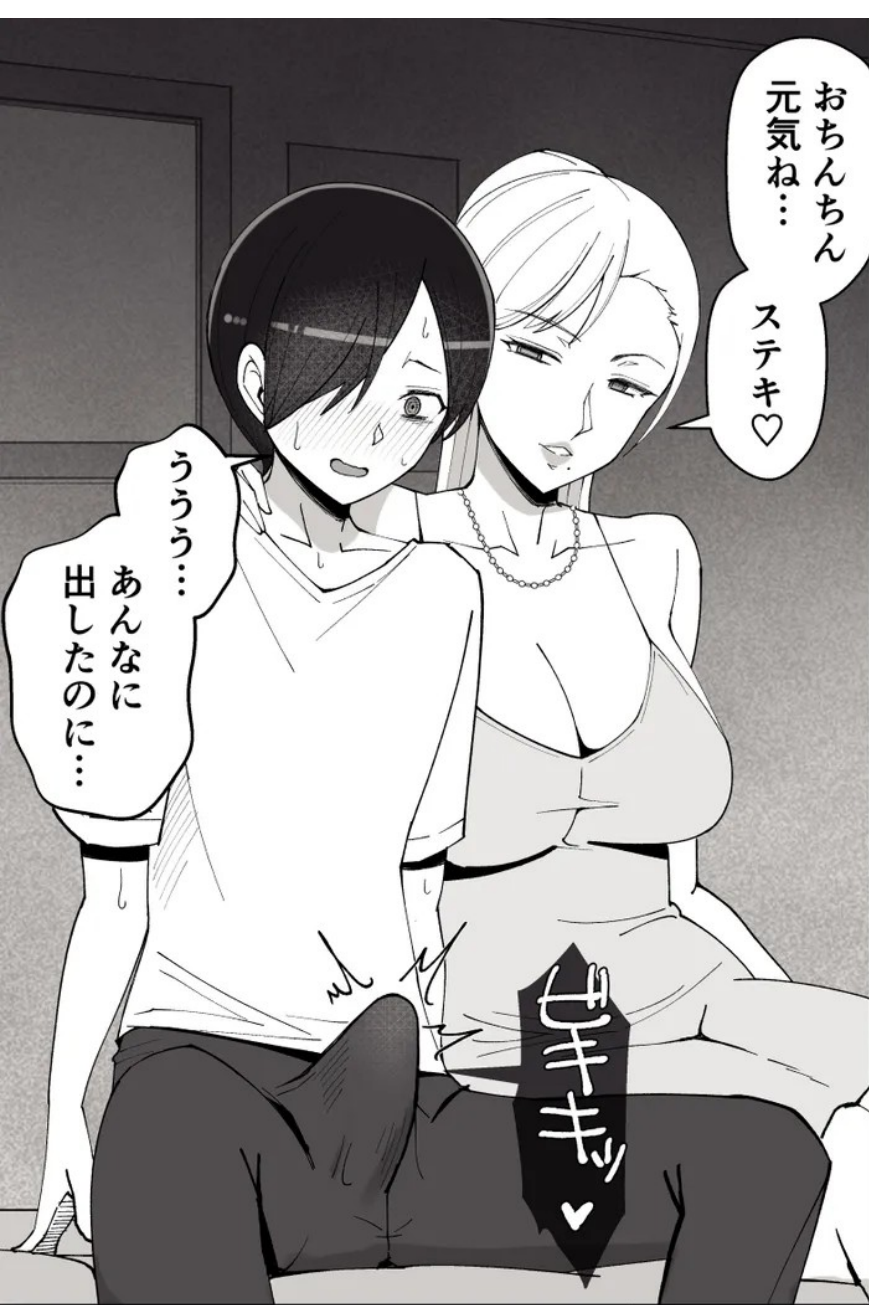
ぽろ

ぽろ

ぽろ

ああ…♡







ほら
おっぱいの
時間でちゅよ♡

ママの大きな
おっぱい♡

ふんふん♡

…!



もっと乳首
強く吸って…♡

ママも感じ
ちゃう♡

はい♡

はむっ

すっぴん♡

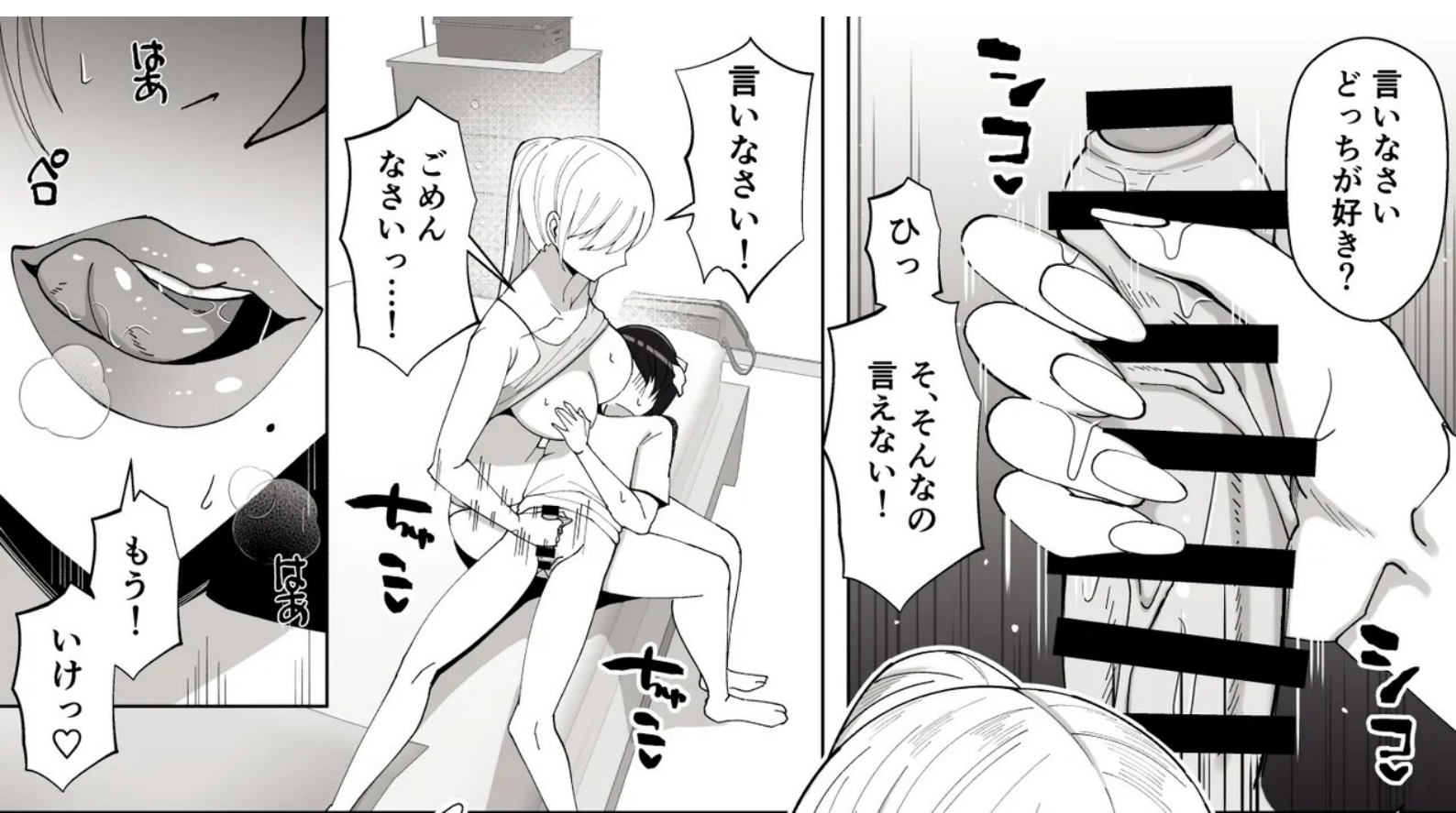
すっぴん♡

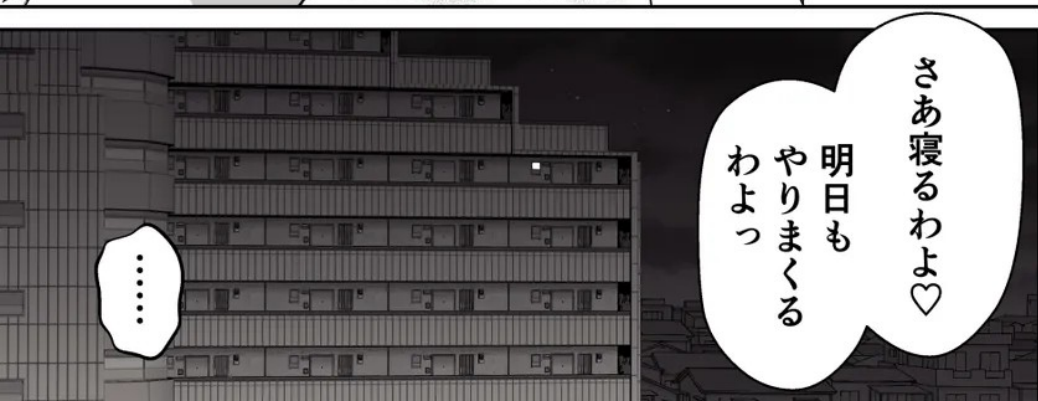
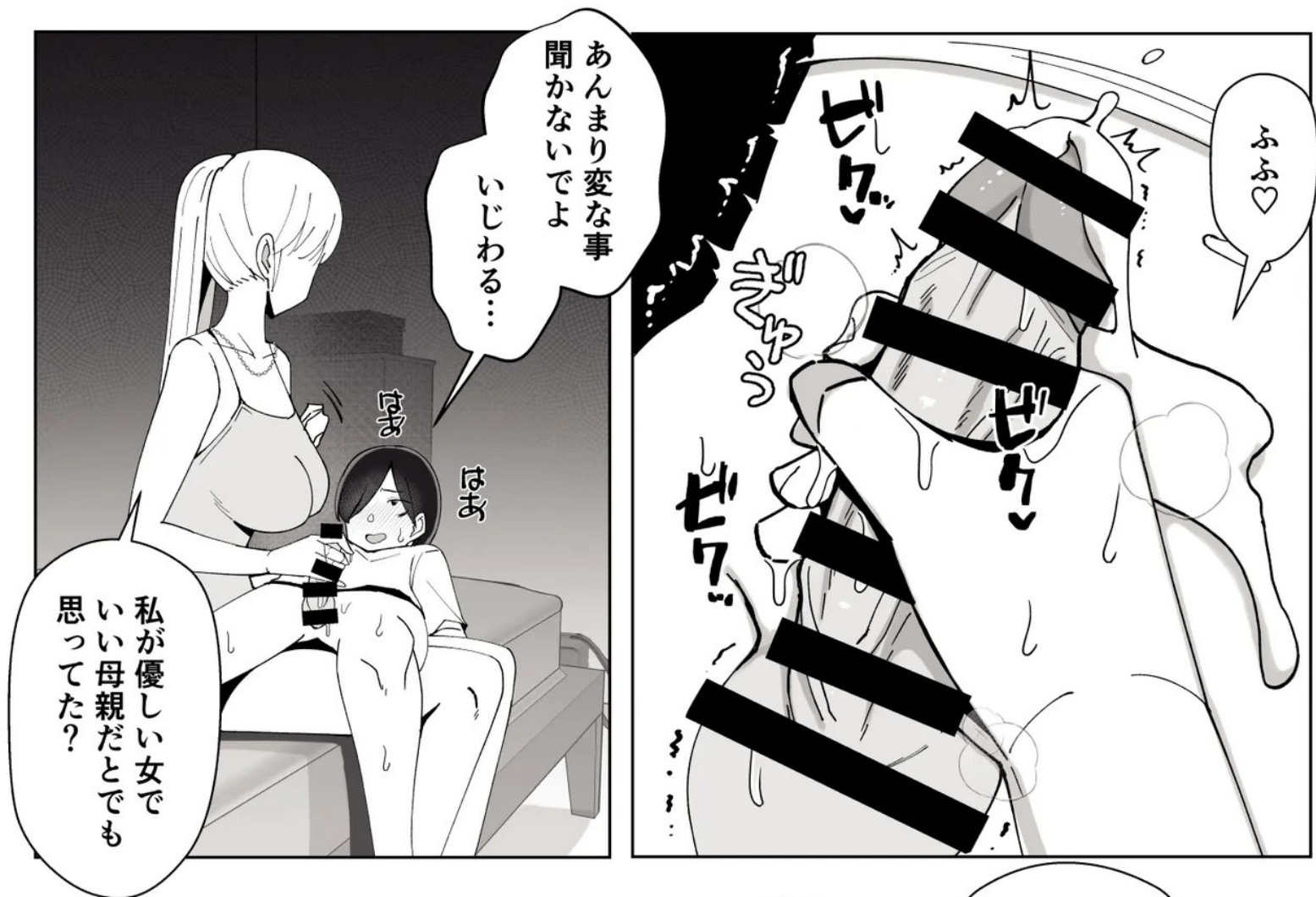
すっぴん♡

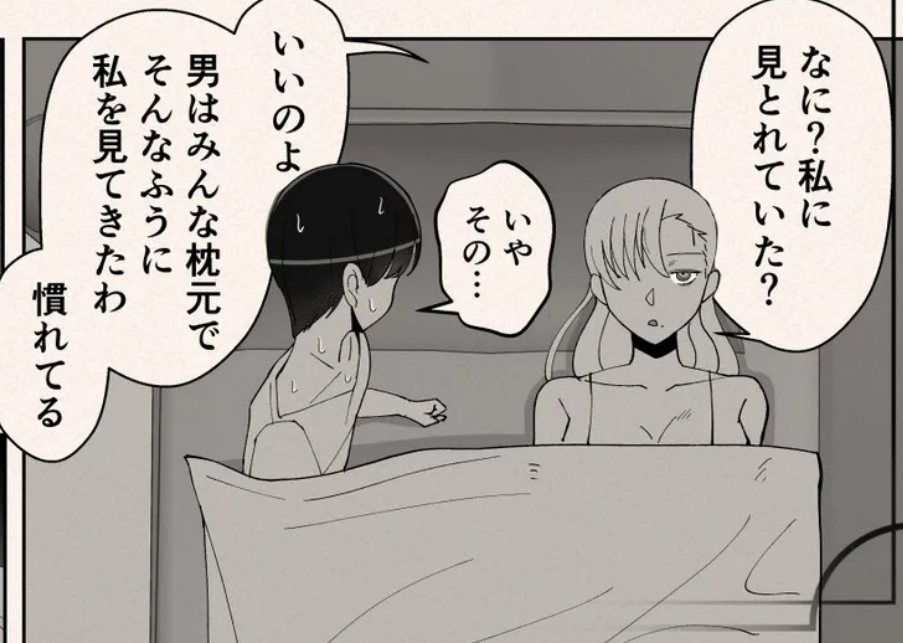
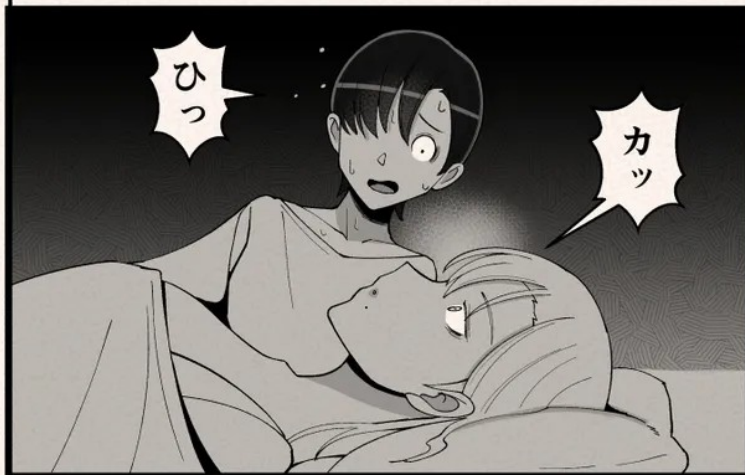
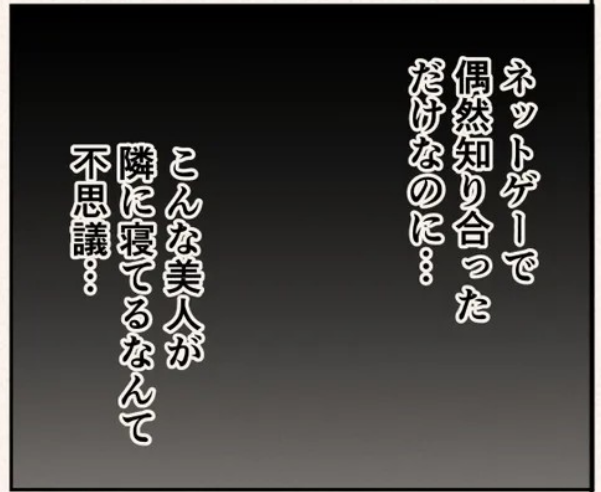
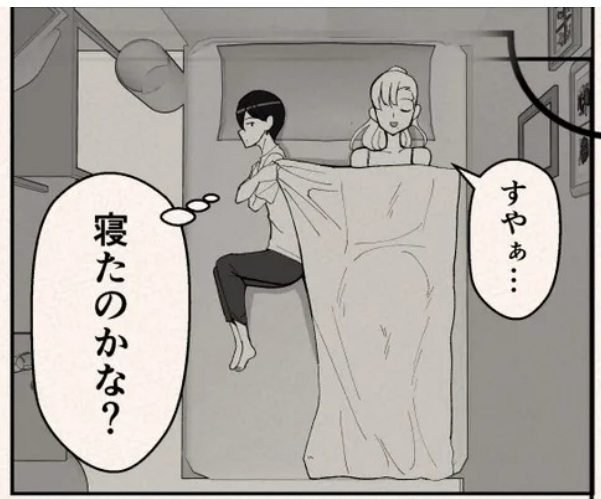
すっぴん♡

んん…!

すっぴん♡









朝から
やれるの
最高ね♡
やっぱり君を
近くに置いて
おきたいわ

は、はい…

今日は私を
良くするのよ

ああ…♡

ちゃ♡

ちゃ♡

ん…

は♡

ん♡



クリを強く
吸って♡

んっ…

あ♡

ああ♡

いい子ね…♡

あなたの大好きな
あやねを産んで
あげた穴よ♡

あ、あやね
ちゃんの…

やだ
興奮して
るの？

ヘンタイ♡

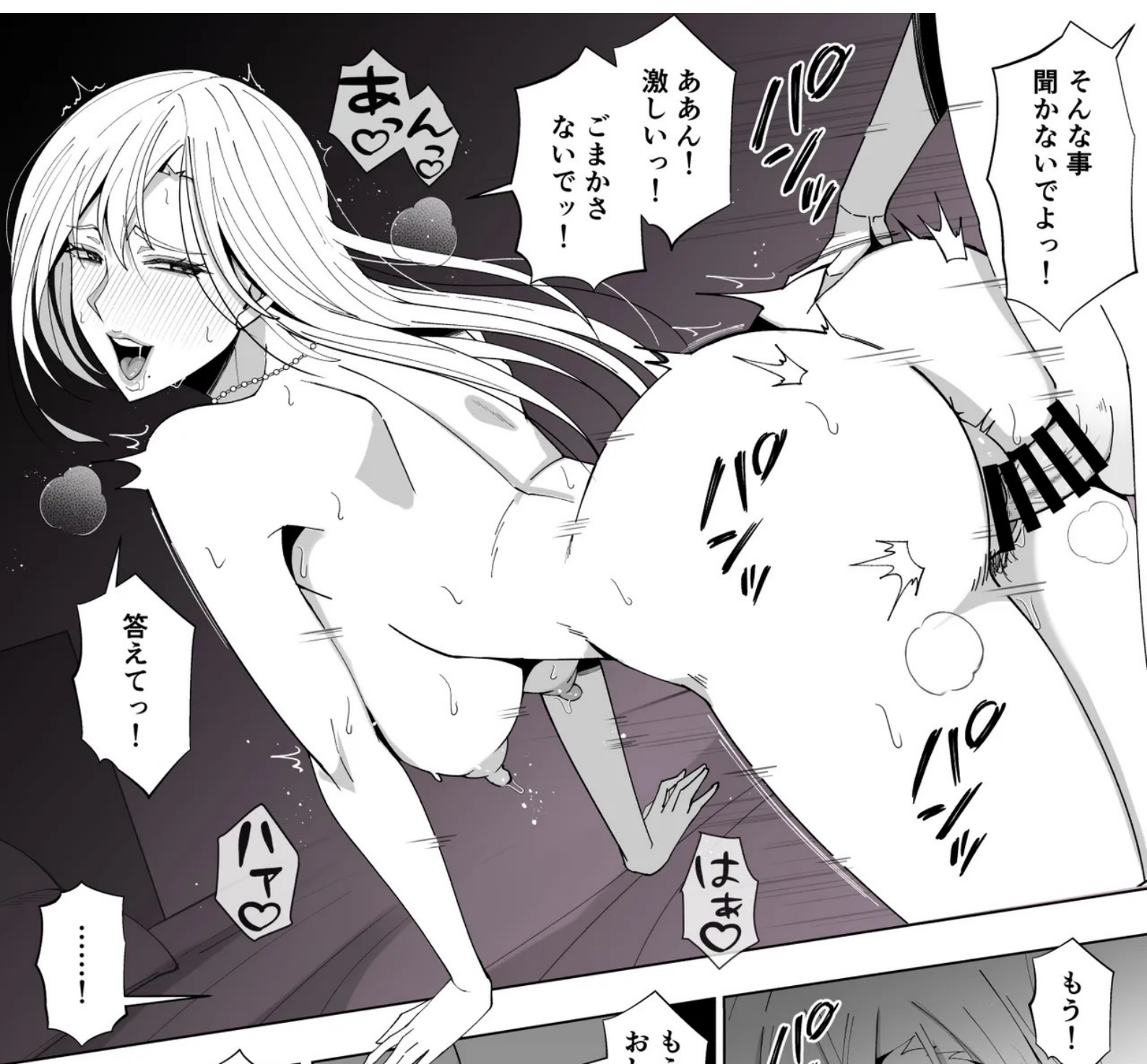
レロ

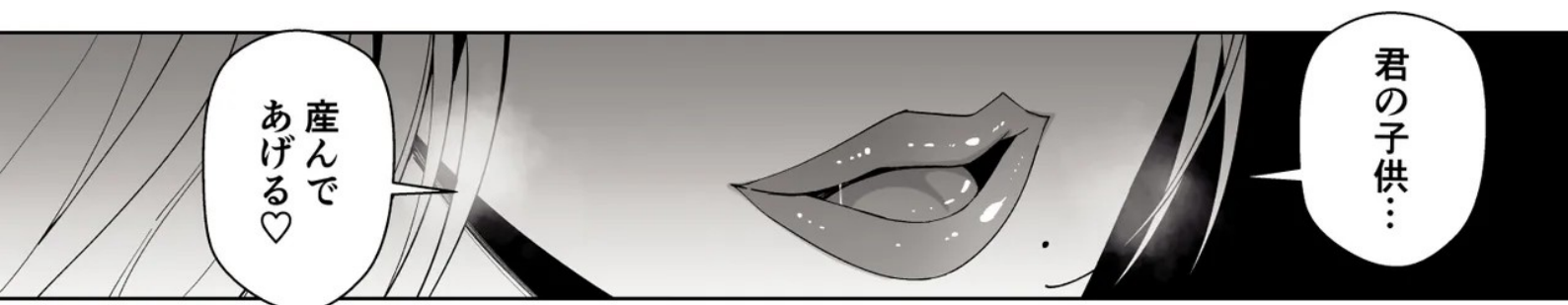
レロ













おっ♡ おっ♡

いざいざ

いざいざ

おっ♡

お、奥に届くっ!

いざいざ

いざいざ



君の女になってあげるから...

めちやくちやにしてっ...!!

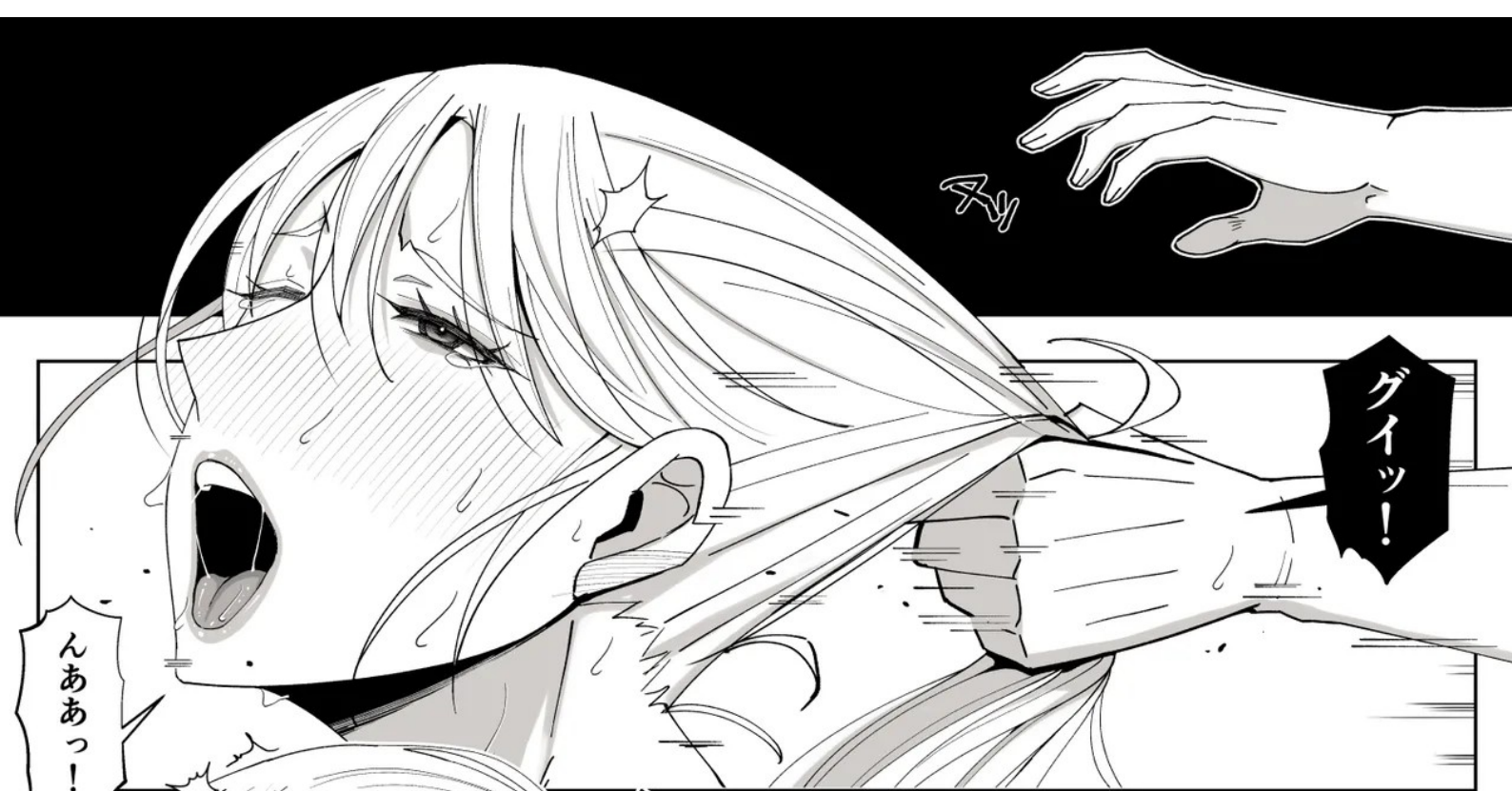
はあ♡

やっぱり君も男だね
女を支配したいのね♡

ボクのモノにしたいっ...!!

ボク...
ボクの...

いざいざ



グイッ!

んああっ!



乱暴なもの
好きなん
でしょ!!

よく覚えて
いたわねっ!

乱暴に
犯されるの
好きっ!

んんん
んんん
んんん



ああっ♡

奥にずんずん
くるっ!

ずんずん





いっくう
——
ツツ!!!

んああっ♡

——
うっ!!

はち...

ヒクヒク

ヒクヒク

ヒクヒク

ヒクヒク

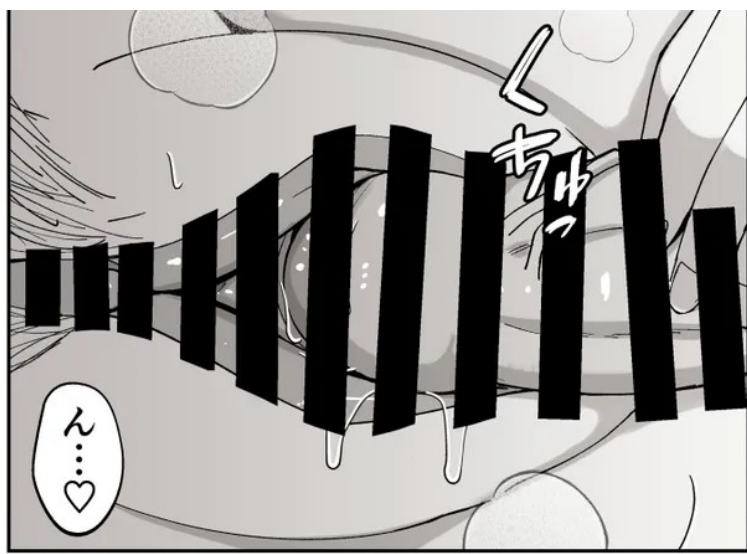
カッ

カッ

ヒク

ヒク







いっさい

刺さるっ♡

ドモッ

グモッ

ズッ

バッ

ああっ♡

キモチいい♡

キモチいい♡

バッ

バッ

バッ

ちんぽ刺さる♡

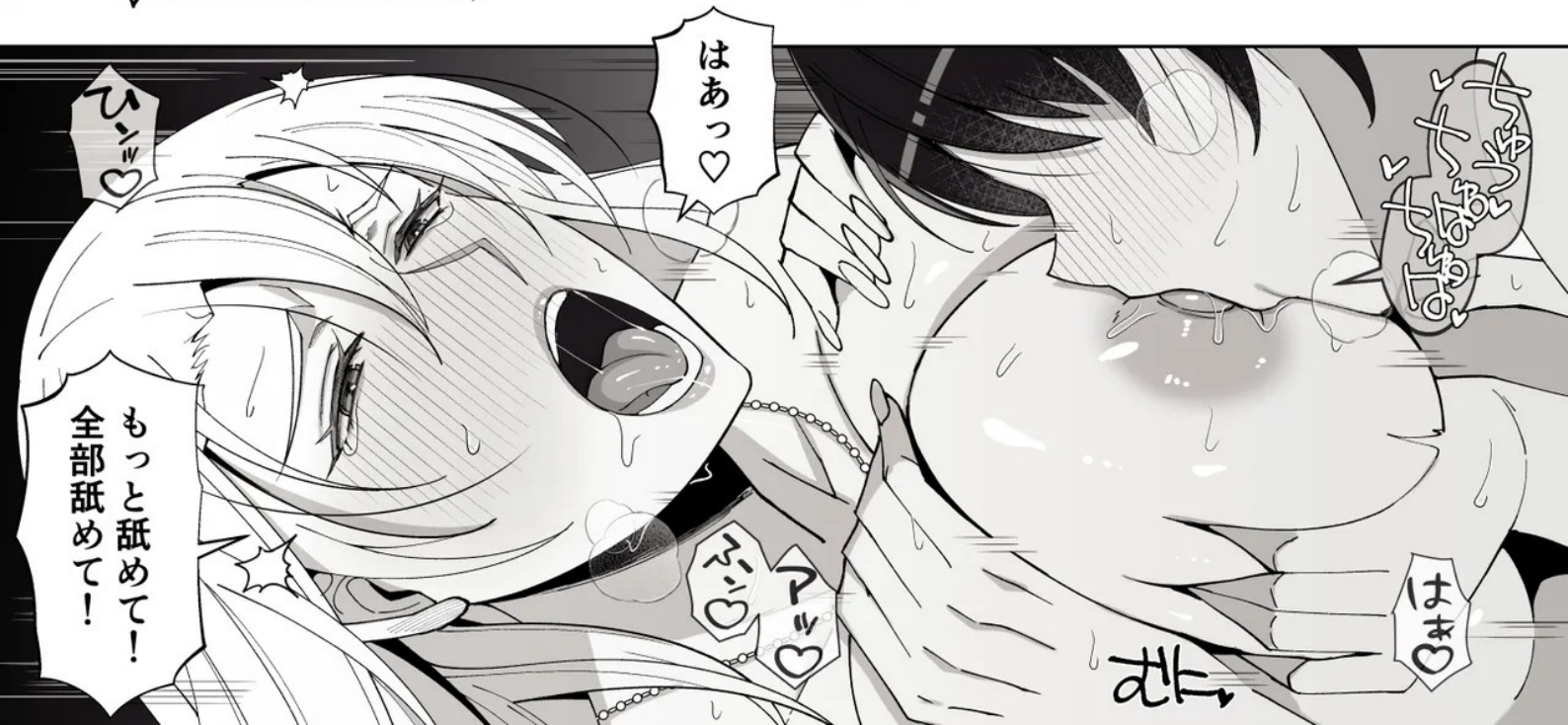
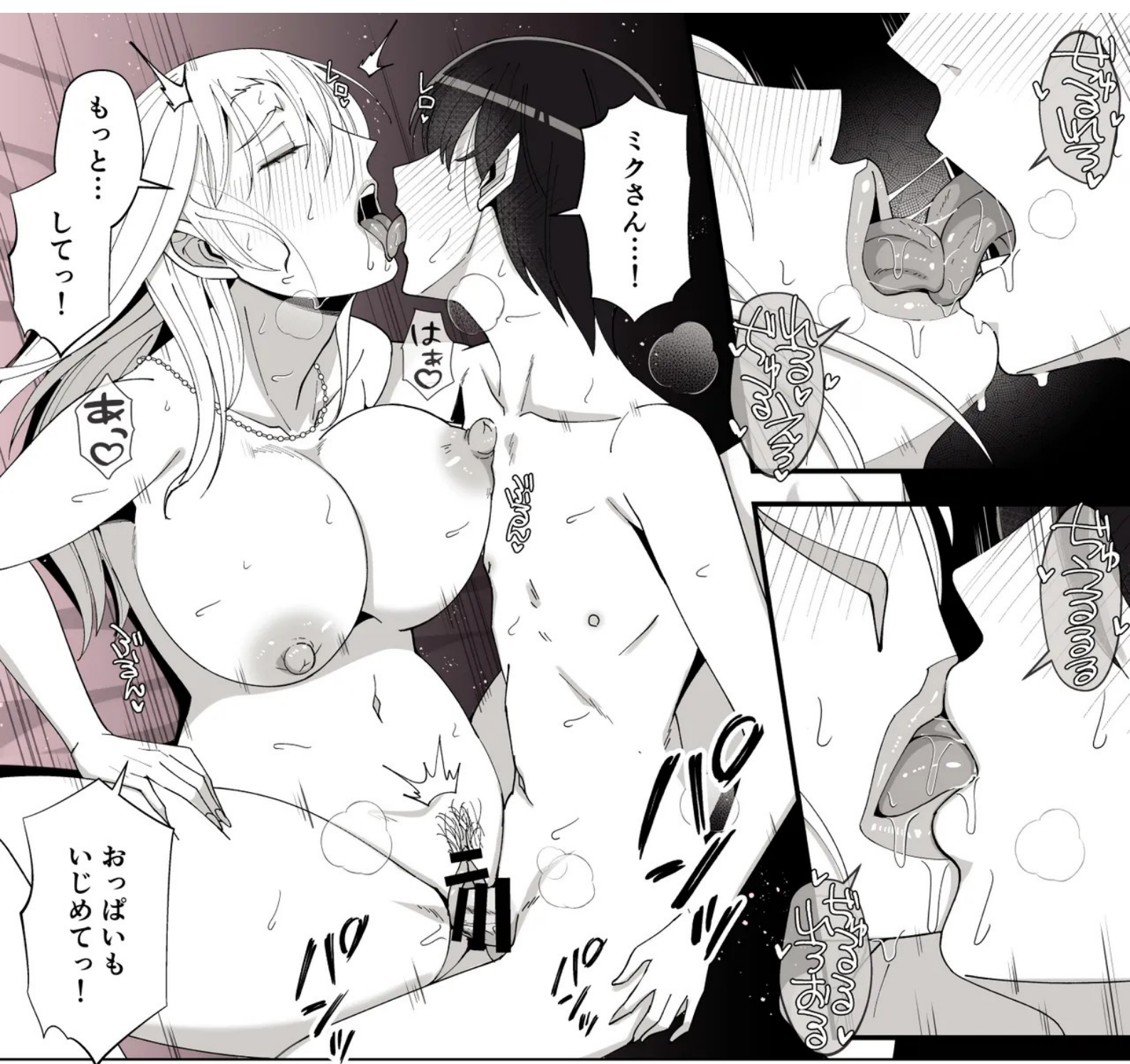
おっ

アッ

おっ

おまんこ
気持ちいい♡♡

いっの♡





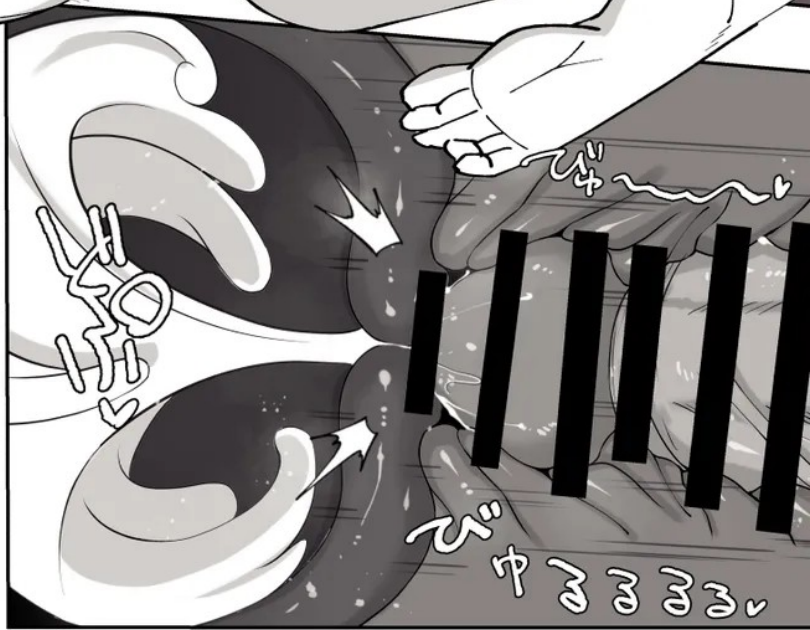




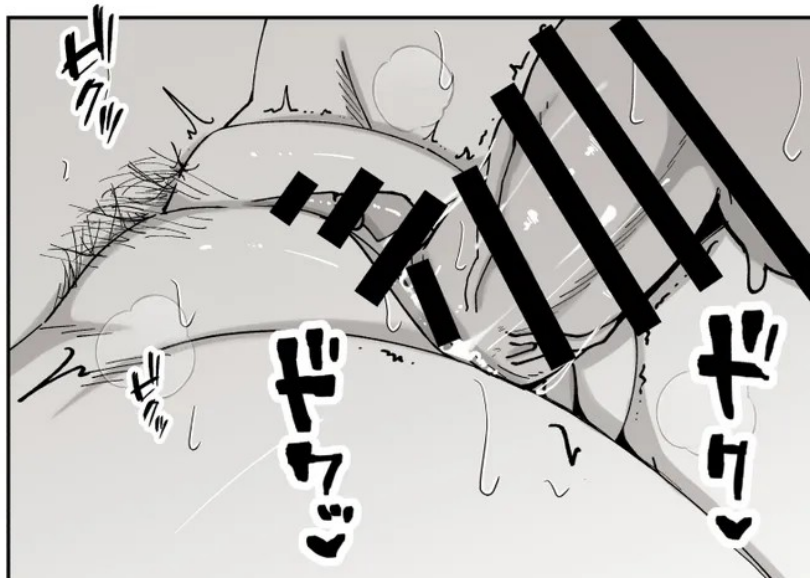
いつくうツ
ツツ!!



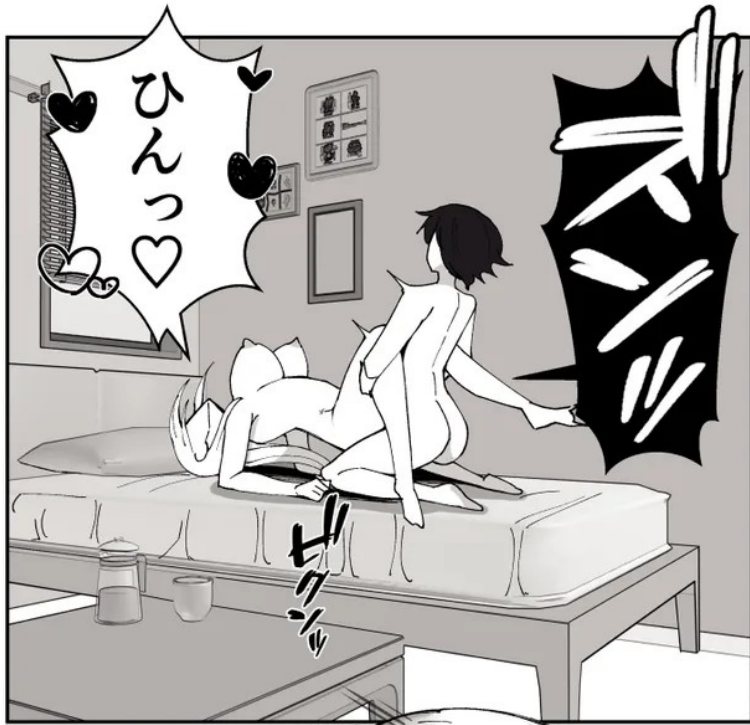
中に
いっぱい...♡



おっ!
っ!
っ!



おっ!
っ!
っ!





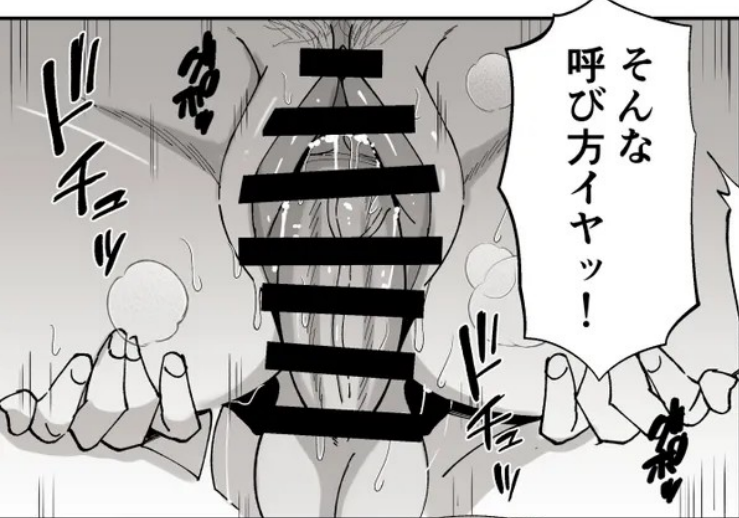
ミクさん！
一緒にイこつ！

イヤっ！



私達って
最高の
相性よ！

僕もそう
思う…！



そんな
呼び方イヤッ！

ズン

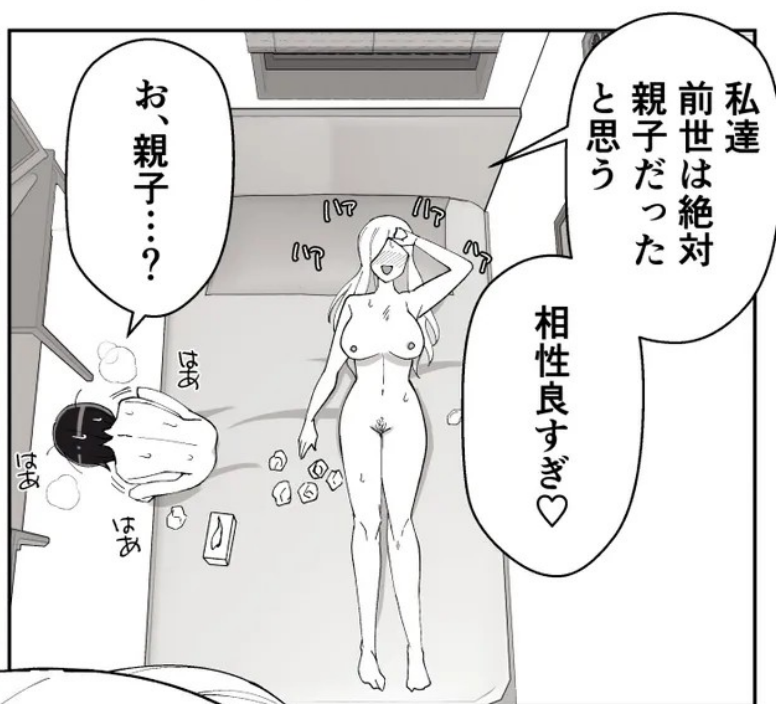
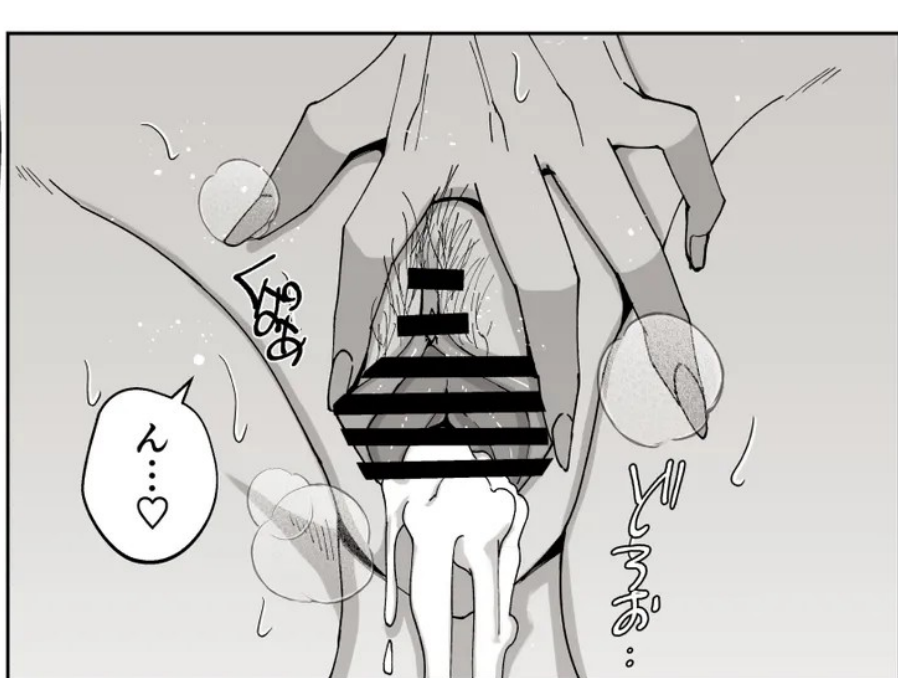


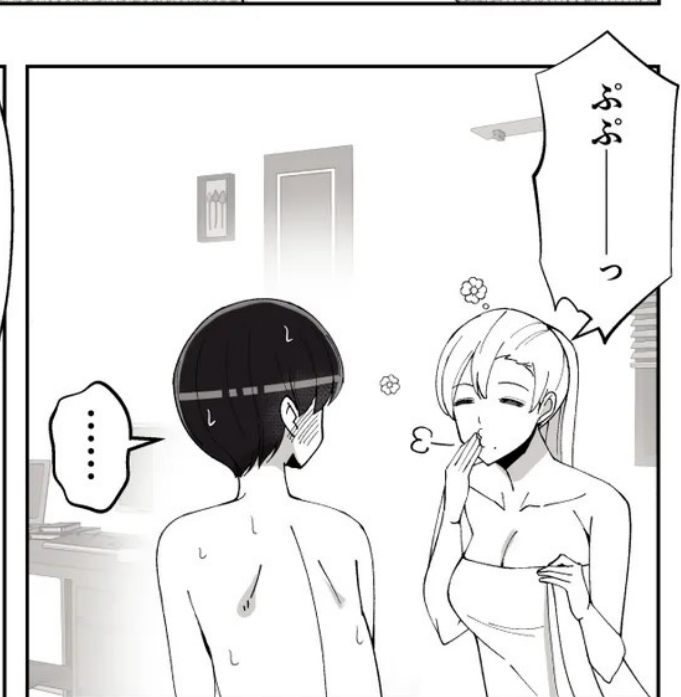
いくよっ！
ママ…っ！

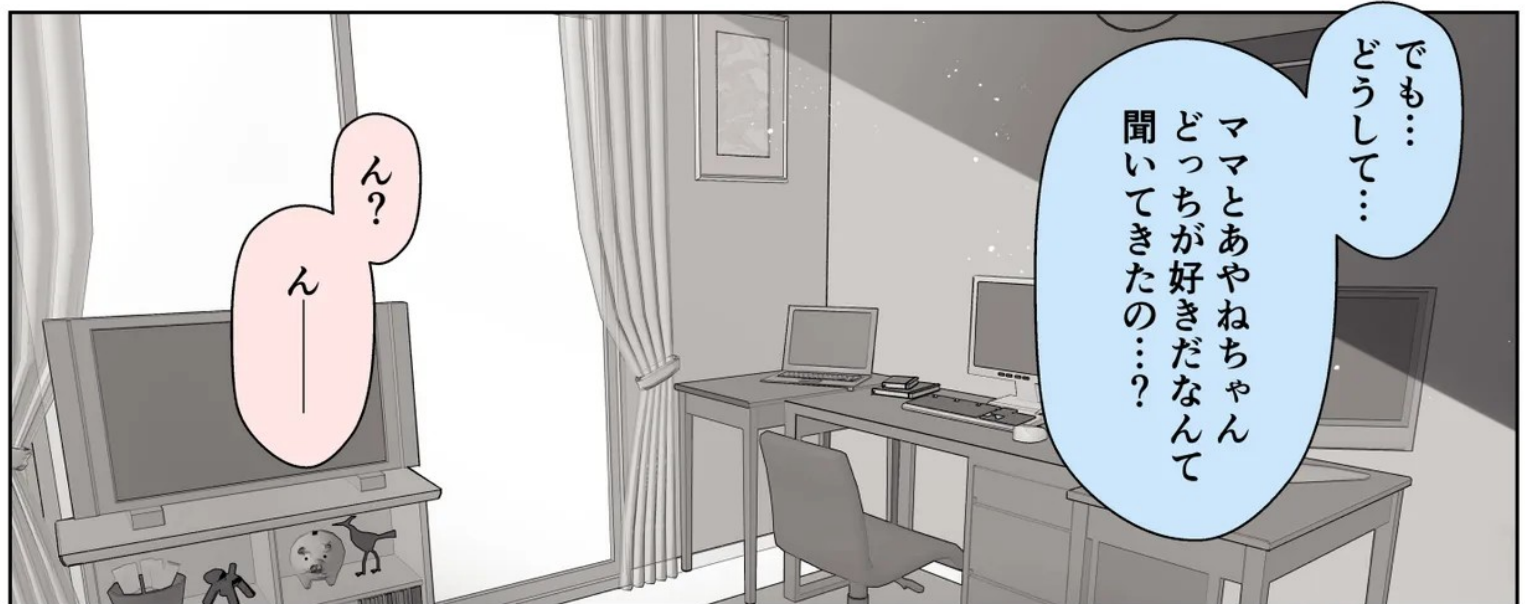
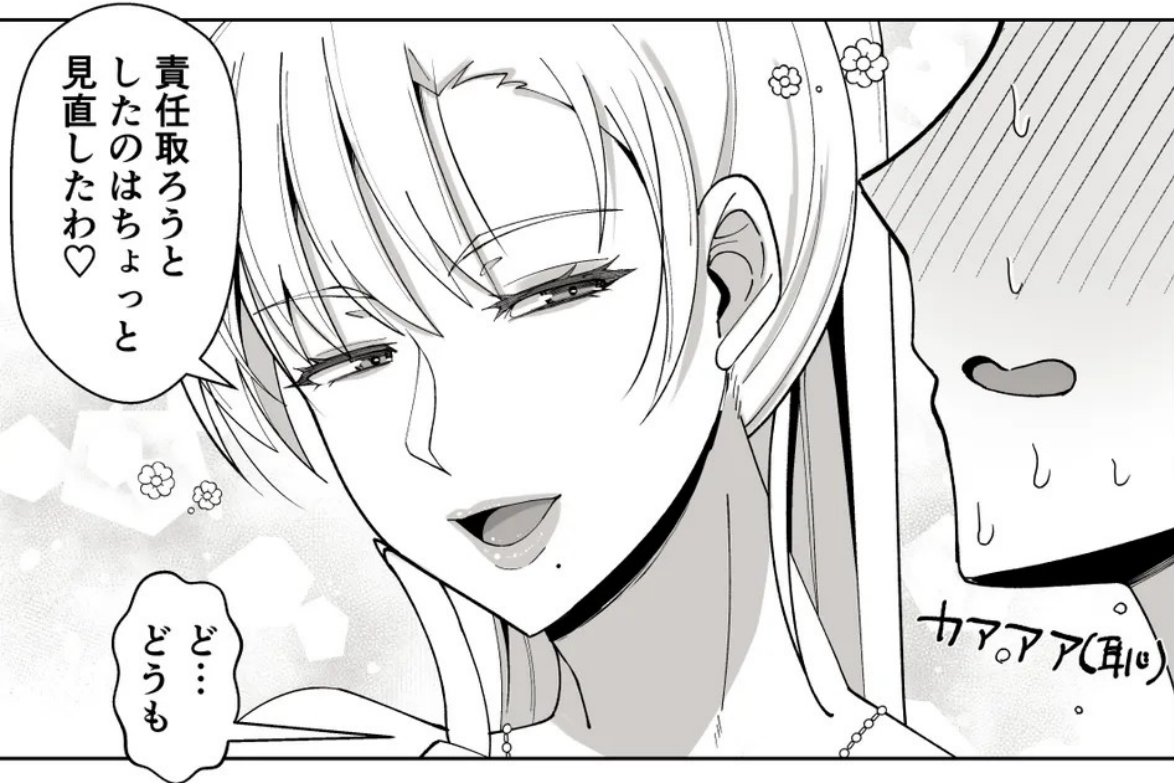
来て♡
ママの中に
来てっ！

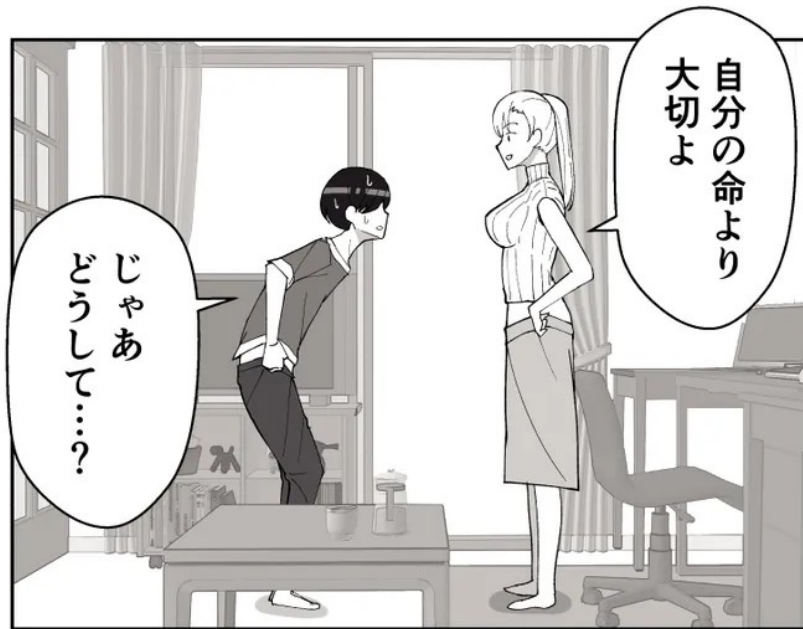


ママって呼んでっ！









自分の命より
大切よ

じゃあ
どうして…?



他人の物を
奪うのって
ゾクゾク
するじゃない

あやねちゃんの事
キレイなの…?



ふふっ
まあ良い
じゃない

今日あやねちゃん
帰って来るから
ウチ行くわよ

え…
今から…?



それでもね
やっぱり女は…

いつだって
誰よりも一番に
想ってほしいの♡

わからないよ…



なに?
あやねちゃんを
お迎えして
あげないの?

いえ…
行きます…

ご飯作って
あげるから♡

ちよつと
なんでそんなに
離れて歩くのよっ

知り合いにでも
出会ったら
説明が面倒な
気がするから…

そんなの…
僕の母です
とか言っておけば
いいじゃない

…お母さんに
見えるかな…?

コッ コッ

…じゃあ
お姉ちゃん
とか?

うふふ♡

うーん…
それは
どうかな?

男はコソコソ
しない!

堂々としてれば
何でも上手く
行くものよっ

いや…
僕はママの
為を思っ…

生意気よ♡

どうせ
若くない
わよ!

わっ!
ちよつ…!

おぎゃ

そろそろ
あやねちゃん
帰ってくるわ

水泳部の
合宿かあ…
大変そう

君も部活
やれば？

僕はバイトが
あるから…

ああ…
苦学生だもんね

………

………

仕事頑張る
男って
ステキよっ

私大好き♡

……

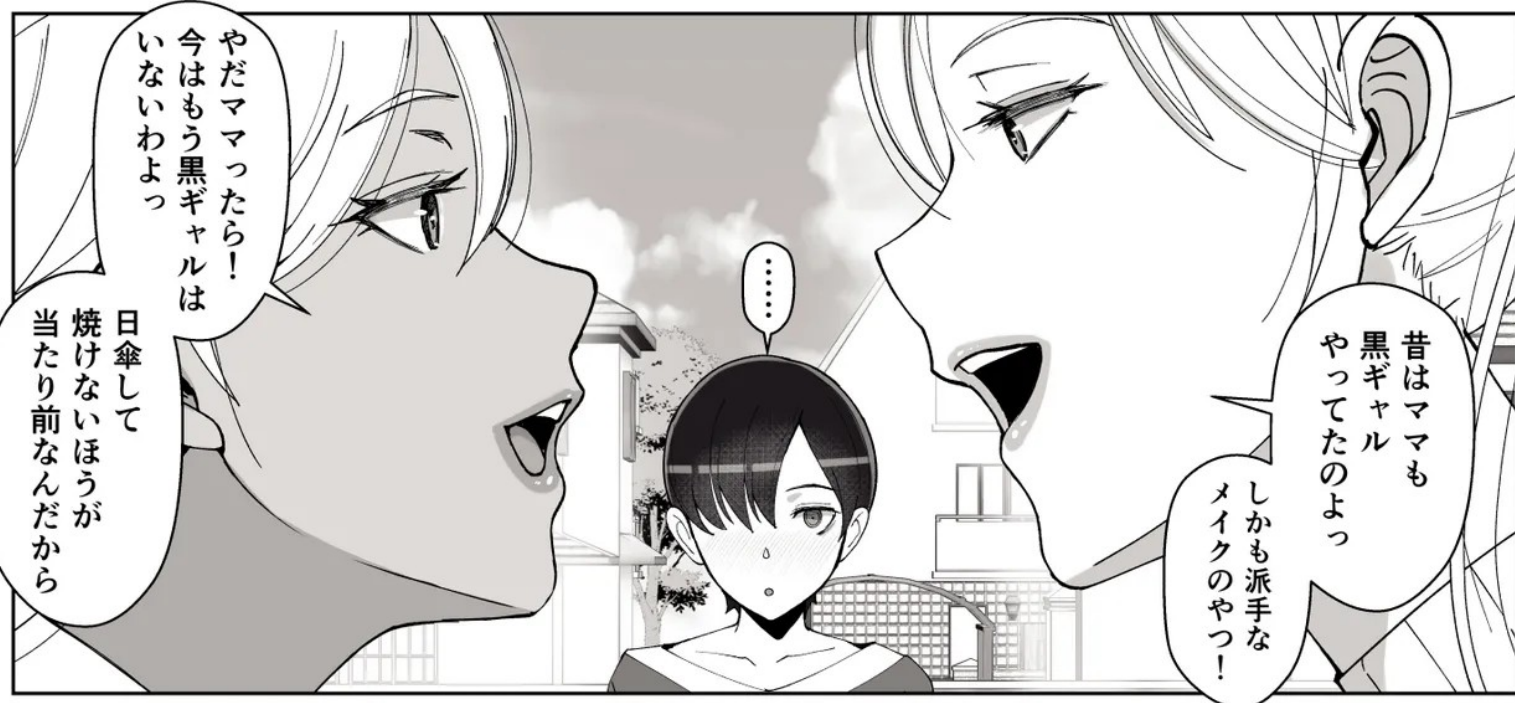
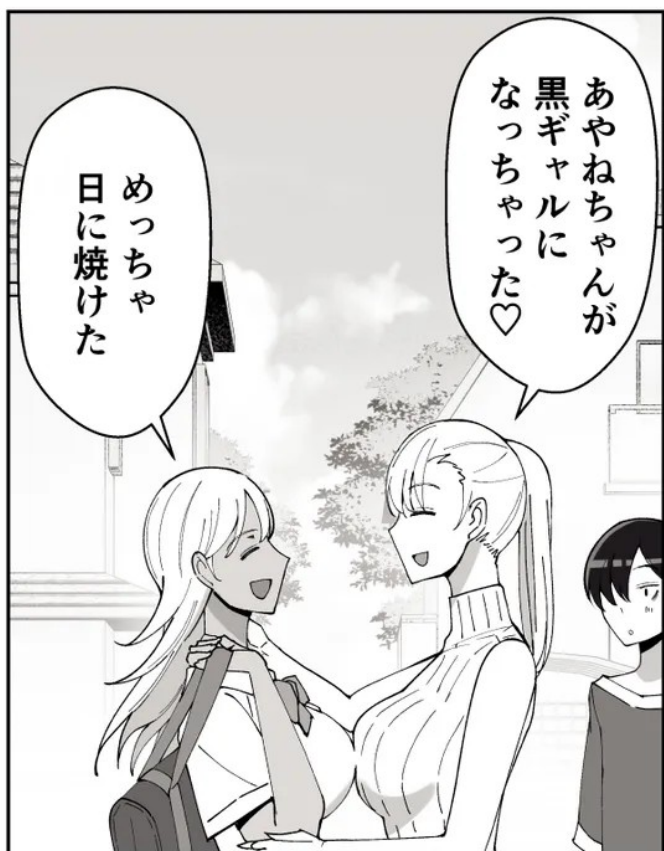
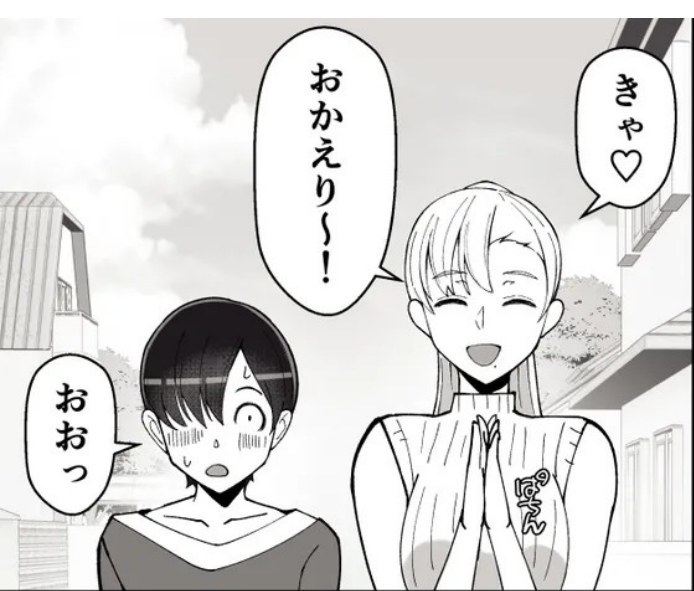
う、うん…

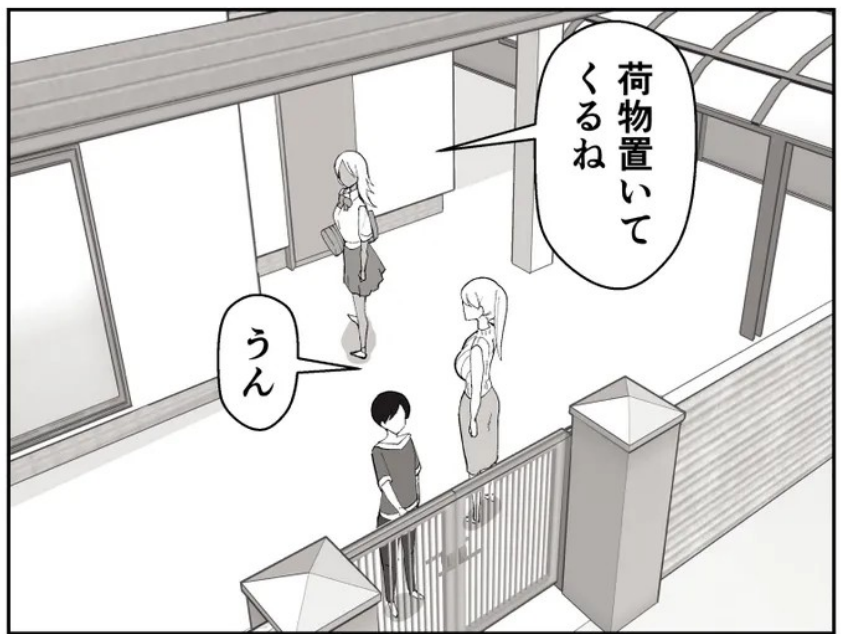
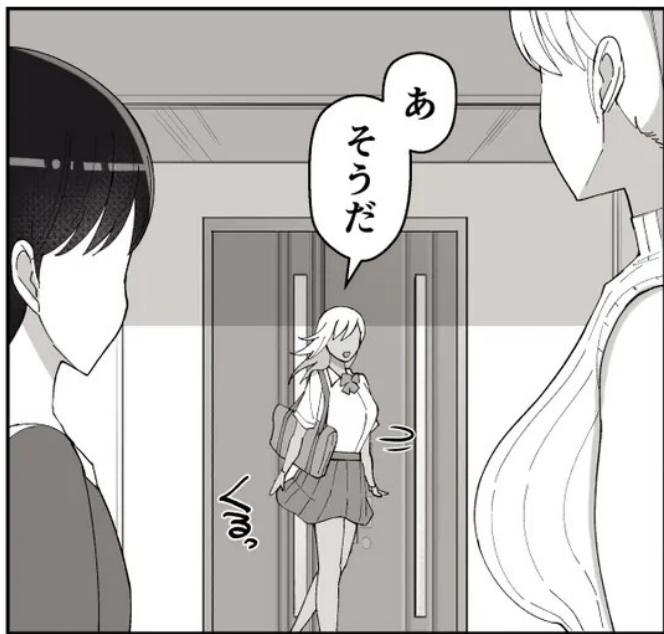
………

お！来てたのか

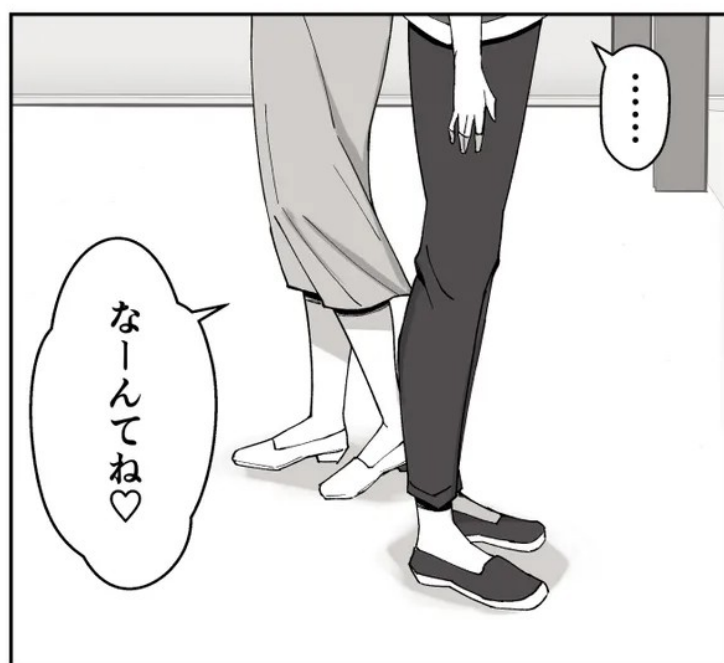
あ

ハッ









一瞬、ミクさんが
少女のように見えた

『20年若かったら
彼女になってた—』
きつと何気なく言った
だけなんだろう…

ザワ...

でもその瞬間
僕とミクさんの間にある
越えられない距離を感じて
胸が締めつけられた

これは失恋？
いや…
多分そうじゃない

結局、僕は
ミクさんにとって
ただの子供なの
かもしれない

手を伸ばせば届くと
思っていた何かは

風にさらわれるように
ふっと遠くへ
流れていった気がした

それでも――

ミクさんと
あやねちゃんと
過ごす“今”が

僕にとって
一番大切なモノ
なのかもしれない――

X : @00_yosiyosi_00

★ご購入ありがとうございました★

気に入っていただけましたら
レビューや高評価を
いただけると嬉しいです。
今後の創作の励みに
させていただきます。

○この物語はフィクションです。
実在のものとは関係ありません。
○本作品の無断複写・複製・転載・翻訳
を禁じます。

©2025 よしよし屋

 転載禁止 / 轉載禁止 / 무단 전재 금지
REPRODUCTION FORBIDDEEN.



